



令和6年度(令和5年度対象)  
羅臼町教育行政の点検・評価  
報告書

羅臼町教育委員会



# ～ 目 次 ～

<b>第1章 はじめに</b>	1
1 目的	
2 評価の方法	
3 羅臼町教育委員会外部評価委員会	
<b>第2章 羅臼町教育委員会の活動状況</b>	2～6
1 令和5年度教育委員会の開催状況	
2 教育委員の研修及び社会教育・公民館・郷土資料館に関する委員会の活動状況	
3 条例・規則等の制定、計画等の策定状況	
<b>第3章 教育委員会の組織</b>	7～9
1 機構	
2 事務分掌	
<b>第4章 学校等設置状況</b>	10～11
1 学校等一覧	
2 在校児童・生徒数及び学級数	
3 教職員数	
<b>第5章 教育費執行状況</b>	12
<b>第6章 令和5年度教育行政執行方針</b>	13～35
<b>第7章 羅臼町教育大綱</b>	36～42
<b>第8章 令和5年度羅臼町教育の取組みの概要と評価</b>	43～80
1 取組み概要と評価	
2 学校教育に係わるその他の取組み	
3 教育団体等に対する補助金	
<b>第9章 所管施設の利用状況</b>	81
<b>第10章 関係規定</b>	82～84

# 第1章 はじめに

## 1 目的

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、学識経験者の意見を付して議会に提出し公表することを目的としています。

## 2 評価の方法

令和5年度に教育委員会が取り組んだ学校教育及び社会教育等に関する主要な施策について現状や背景を踏まえ、内部評価を行った上で実績を明らかにした結果を、次のとおりまとめたものです。

- A:当初目的を超える成果
- B:概ね達成できた
- C:目標に至っていない

## 3 羅臼町教育委員会外部評価委員会

羅臼町教育行政点検・評価にあたっては、各委員により幼稚園、小中学校の現状について各園・各学校の授業参観や管理職の説明を受け状況を把握するほか、教育行政が行った主要な各事業については、各事業の点検評価内容を担当課(係)より説明を行いながら、次の4名の委員から具体的な意見などをいただきます。

### <羅臼町外部評価委員>

氏名	職業等
境 智 洋	北海道教育大学釧路校 教授
宮 前 耕 史	北海道教育大学釧路校 准教授
大 口 茂	元羅臼町社会教育委員
山 本 啓 治	元教職員

※ 委員の任期は令和6年4月1日から令和8年3月31日まで。

## 第2章 羅臼町教育委員会の活動状況

### 1 令和5年度教育委員会の開催状況

羅臼町教育委員会は、毎月1回開催し、教育課題に対する協議等を行いました。会議の開催状況は次の通りです。

開催日	付議案件
令和5年4月27日 第4回定例会	<p>【協議事項】</p> <p>議案第 8号 令和5年度準要保護児童・生徒の認定について</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告第 5号 羅臼町学校運営協議会の設置に関する規則の一部改正について</p> <p>報告第 6号 北海道立羅臼高等学校等に対する高校魅力化補助金交付要綱の新設について</p> <p>報告第 7号 羅臼町社会教育中期計画策定要綱の一部改正について</p> <p>報告第 8号 諸会議・諸行事について</p>
令和5年5月26日 第5回定例会	<p>【協議事項】</p> <p>議案第 9号 羅臼町図書館条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>議案第10号 令和5年度一般会計予算補正について</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告第 9号 令和5年度教育行政執行方針について</p> <p>報告第10号 諸会議・諸行事について</p>
令和5年6月19日 第6回定例会 ※非公開※	<p>【報告事項】</p> <p>報告第11号 羅臼小学校児童による「重大事態」の再調査の報告について</p>
令和5年6月28日 第7回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>報告第12号 令和5年度教育委員視察研修について</p> <p>報告第13号 諸会議・諸行事について</p>
令和5年7月26日 第8回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>報告第14号 羅臼町立学校及び羅臼町立幼稚園における教職員等のハラスメント防止等に関する基本指針の改正について</p> <p>報告第15号 諸会議・諸行事について</p> <p>報告第16号 羅臼町立学校職員ストレスチェック制度実施規程の一部改正について</p>

開催日	付議案件
令和5年8月30日 第9回定例会	<p>【協議事項】</p> <p>議案第11号 令和5年度一般会計予算補正について</p> <p>議案第12号 令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について</p> <p>議案第13号 令和6年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について</p> <p>議案第14号 羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園適正配置計画について</p> <p>議案第15号 令和5年度全国学力学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村結果の掲載について</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告第17号 諸会議・諸行事について</p>
令和5年9月25日 第10回定例会	<p>【協議事項】</p> <p>議案第16号 羅臼高校存続・羅臼高校支援・全国公募について</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告第18号 諸会議・諸行事について</p>
令和5年10月25日 第11回定例会	<p>【協議事項】</p> <p>議案第17号 令和5年度準要保護児童・生徒の認定について</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告第19号 羅臼町教育委員会教育長職務代理者の指名について</p> <p>報告第20号 諸会議・諸行事について</p>
令和5年11月29日 第12回定例会	<p>【協議事項】</p> <p>議案第18号 令和5年度一般会計予算補正について</p> <p>議案第19号 羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園適正配置計画の更新について</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告第21号 諸会議・諸行事について</p>
令和5年12月20日 第13回定例会	<p>【協議事項】</p> <p>議案第20号 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告第22号 諸会議・諸行事について</p>

開催日	付議案件
令和6年1月31日 第1回定例会	<p>【協議事項】</p> <p>議案第 1号 令和5年度羅臼町児童・生徒表彰について            議案第 2号 令和6年度児童・生徒の就学について            議案第 3号 令和6年度学用品費(新入学準備金)早期支給の認定について</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告第 1号 諸会議・諸行事について</p>
令和6年2月22日 第2回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>報告第 2号 令和6年度教育行政執行方針について</p>
令和6年2月28日 第3回定例会	<p>【協議事項】</p> <p>議案第 4号 令和5年度一般会計予算補正について            議案第 5号 羅臼町における天然記念物指定鳥類保護のための調査規則の制定について            議案第 6号 羅臼町第9次社会教育中期計画の策定について            議案第 7号 令和6年度児童・生徒の就学(追加)について</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告第 3号 諸会議・諸行事について</p>
令和6年3月27日 第4回定例会	<p>【協議事項】</p> <p>議案第 8号 羅臼町立学校管理規則の改正について            議案第 9号 羅臼町立学校職員服務規程の改正について            議案第10号 令和6年度準要保護児童・生徒の認定について</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告第 4号 諸会議・諸行事について</p>

- i 開催回数:定例会…14回 / 臨時会…0回
- ii 審議事項:協議案件…23件 / 報告案件…22件

## 2 教育委員の研修及び社会教育・公民館・郷土資料館に関する委員会の活動状況

### ア 教育委員の研修

開催日	協議・報告事項	参加人数
令和5年7月21日	・第58回北海道市町村教育委員会研修会	2名
令和5年9月6日～7日	・令和5年度根室管内市町教育委員会連合会定期総会及び教育委員研修会	3名
令和6年3月27日	・令和5年度教育委員及び校長合同研修会	4名
未開催	・教育委員の幼稚園・学校訪問(外部評価委員と合同) ※ 委員の都合が合わず今年度未実施	-

### イ 社会教育委員の会兼図書館協議会

開催日	協議・報告事項	参加人数
令和5年4月12日	・令和5年度社会教育事業計画について ・令和5年度社会教育予算について ・令和5年度社会教育関係団体補助金について ・令和5年度社会教育関係各種研修会の日程について ・羅臼町第9期社会教育中期計画策定について	11名
令和5年12月21日	・令和5年度社会教育事業進捗状況について ・各種研修会について ・第9次社会教育中期計画の進捗状況について ・羅臼町図書館の休館について	10名
令和6年2月19日	・第9次羅臼町社会教育中期計画答申案について ・羅臼町各種教育団体派遣助成規則・細則の見直しについて	9名
令和6年3月26日	・令和5年度羅臼町単年度事業反省評価票について	9名



### ウ スポーツ推進委員会

開催日	協議・報告事項	参加人数
令和5年6月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度社会教育事業計画単年度計画について</li> <li>・令和5年度羅臼町社会体育予算について</li> <li>・令和5年度社会教育関係団体補助金について</li> <li>・令和5年度各種総会・研修会等の日程について</li> </ul>	5名
令和6年2月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羅臼町各種教育団体派助成規則の改正について</li> <li>・NPO 法人羅臼スポーツクラブらいう共催事業 体力測定会について</li> <li>・根室管内スポーツ交歓大会について</li> <li>・クナシリ眺望駅伝競走大会について</li> <li>・管内スポーツ推進委員役員会及び研修会について</li> <li>・中学校部活動の地域移行について</li> </ul>	3名
令和6年3月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羅臼スポーツ習慣化促進事業について</li> <li>・令和5年度羅臼町単年度反省評価票について</li> </ul>	2名

### エ 文化財保護調査委員会

開催日	協議・報告事項	参加人数
令和5年6月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度文化財調査費について</li> <li>・指定鳥類保護監視規則について</li> </ul>	6名
令和5年11月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度(4～10月)実施事業について</li> <li>・第9次社会教育中期計画の進捗状況について</li> <li>・指定鳥類保護監視規則について</li> </ul>	5名
令和6年2月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定鳥類保護監視規則廃止及び指定鳥類保護調査規則の新規制定について</li> </ul>	5名
令和6年3月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度実施事業について</li> <li>・羅臼町における天然記念物指定鳥類保護のための調査規則新規制定について</li> </ul>	5名

## 3 条例・規則等の制定、計画等の策定状況

[令和5年度]

議案番号	条例・規則等の制定、計画等名	担当課
議案第 9号	羅臼町図書館条例の一部を改正する条例制定について	図書館
議案第14号	羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園適正配置計画について	学務課
議案第 5号	羅臼町における天然記念物指定鳥類保護のための調査規則の制定について	郷土資料館
議案第 6号	羅臼町第9次社会教育中期計画の策定について	社会教育課
議案第 8号	羅臼町立学校管理規則の改正について	学務課
議案第 9号	羅臼町立学校職員服務規程の改正について	学務課

## 第3章 教育委員会の組織

### 1 機構

#### ア 教育委員会委員

(令和5年4月1日現在)

職名	氏名	就任年月日	任期
教 育 長	石 崎 佳 典	令和 4年 4月 1日	令和 4年10月 1日から 令和 7年 9月30日まで
委 員 (教育長職務代理者)	萬 屋 志都子	平成18年 1月 1日	令和 元年10月 1日から 令和 5年 9月30日まで
委 員	葛 西 良 浩	平成28年10月 1日	令和 2年10月 1日から 令和 6年 9月30日まで
委 員	芦 崎 拓 也	平成30年10月 1日	令和 4年10月 1日から 令和 8年 9月30日まで
委 員	佐々木 美 穂	令和 4年 1月25日	令和 4年 1月25日から 令和 8年 1月24日まで

#### イ 教育委員会分掌配置

(令和5年4月1日現在)

区分	所属	職員数	会計年度任用職員	合計
事務局	教育指導主幹	-	1人	1人
	特別支援教育主幹	-	1人(1人)	1人(1人)
	学務課	7人	-	7人
	社会教育課	5人(1人)	-	5人(1人)
	図書館	3人(2人)	2人	5人(2人)
	郷土資料館	2人(1人)	1人	3人(1人)
	学校給食センター	3人(2人)	7人	10人(2人)
幼稚園	羅臼幼稚園	8人	4人	12人
	春松幼稚園	7人	2人	9人
合 計		35人(6人)	18人(1人)	53人(7人)

※ ( )は、職員数のうち他の職と兼(併)任している職員数

※ 職員数には、再任用職員含む

## 2 事務分掌

### 【主幹】

#### (教育指導主幹)

- (1) 学校及び幼稚園運営に関する専門的事項の指導助言に関する事。
- (2) 学校教育における生徒指導などの教育相談に関する事。
- (3) 社会教育にかかわる専門的事項に関する事。
- (4) 生涯学習推進のための啓発に関する事。
- (5) 研修及び調査研究に関する事。

### 【学務課】

#### (総務管理係)

- (1) 教育委員会の会議に関する事。
- (2) 教育費予算編成並びに予算執行の総括に関する事。
- (3) 交際及び儀式(成人式を除く。)に関する事。
- (4) 請願及び要望に関する事。
- (5) 公文書物品の発受並びに保管に関する事。
- (6) 法規関係の整備に関する事。
- (7) 公示及び令達に関する事。
- (8) 公印の保管に関する事。
- (9) 町長部局及び議会事務局との連絡に関する事。
- (10) 条例及び教育委員会規則、規程等の制定又は改廃の総括に関する事。
- (11) 褒章、表彰に関する事。
- (12) 事務局及び施設職員の人事、給与に関する事。
- (13) 学校、その他教育施設の設置及び廃止に関する事。
- (14) 学校等経理事務及び指導に関する事。
- (15) 学務課所管にかかわる経理事務に関する事。
- (16) 他課、係の分掌に定める以外の教育調査及び統計に関する事。
- (17) 奨学資金等に関する事。
- (18) 町職員及び教職員の組合に関する事。
- (19) 教育事務の総合調整に関する事。
- (20) 教育委員会事務局職員及び教職員のレクリエーション、互助会等に関する事。
- (21) 教職員の健康管理に関する事。
- (22) 学校、教職員住宅及び教育施設の新、増、改築等の計画に関する事。
- (23) 文教施設整備の調査及び申請に関する事。
- (24) 学校、その他教育施設及び教職員住宅の用地調査、管理、営繕に関する事。
- (25) 学校適正配置計画に関する事。
- (26) 学校給食センターの管理運営に関する事。
- (27) その他、他係に属さない事項

#### (学校教育係)

- (1) 学校及び幼稚園の管理運営に関する事。
- (2) 教育課程の編成指導及び諸報告、届出の取扱いに関する事。
- (3) 学令簿及び学級編成に関する事。
- (4) 通学、通園区域に関する事。
- (5) 教科書及びその他教材の取扱いに関する事。
- (6) 教材、備品等の整備充実に関する事。
- (7) 学校及び幼稚園施設の利用に関する事(学校開放事業は除く。)
- (8) 学校教育にかかわる調査及び統計に関する事。
- (9) 教職員の人事、サービス及び給与に関する事。
- (10) 教職員の研修及び研究指定校に関する事。
- (11) 教職員の免許状及び資格向上に関する事。
- (12) 中高一貫教育推進に関する事。
- (13) 園児、児童、生徒の就学(園)及び入退学(園)に関する事。
- (14) 保護家庭児童生徒の援助に関する事。
- (15) 園児、児童、生徒の通学援助に関する事。
- (16) 園児、児童、生徒の事故報告に関する事。
- (17) 学校及び幼稚園の保健全般に関する事。
- (18) 学校行事審議会に関する事。
- (19) その他一般的学校教育に関する事。

## 【社会教育課】

### (社会教育係)

- (1)社会教育委員及び会議に関する事。
- (2)社会教育計画に関する事。
- (3)他係に属さない各種委員会等に関する事。
- (4)社会教育施設の設置及び管理運営に関する事。
- (5)成人式に関する事。
- (6)幼児及び少年教育、家庭教育に関する事。
- (7)青年及び成人教育、女性教育に関する事。
- (8)高齢者教育に関する事。
- (9)社会教育関係団体の育成指導に関する事。
- (10)文字・活字文化振興に関する事。
- (11)芸術、文化活動の助長、促進に関する事。
- (12)社会教育関係の一般的経理事務に関する事。
- (13)その他一般的社会教育に関する事。

### (社会教育指導班)

- (1)生涯学習推進にかかわる調査、研究、指導助言に関する事。
- (2)社会教育、公民館、社会体育事業にかかわる指導助言、総合調整に関する事。
- (3)社会教育推進のための調査、研究、計画に関する事。
- (4)他機関及び社会教育関係機関と連携する事業等にかかわる指導助言に関する事。
- (5)青少年非行防止の指導相談に関する事。
- (6)青少年健全育成にかかわる相談事業に関する事。
- (7)各種関係資料の収集及び情報提供に関する事。

### (社会教育相談員)

- (1)学習相談窓口の設置、対応に関する事。
- (2)学校週5日制に関する事。
- (3)生涯学習推進のための情報提供及び地域の情報収集に関する事。
- (4)各種社会教育事業に関する指導助言
- (5)各種社会教育関係機関、団体の育成、指導に関する事。

### (スポーツ振興係)

- (1)社会体育振興計画に関する事。
- (2)町民体育、スポーツの普及振興及び指導に関する事。
- (3)社会体育団体の育成指導に関する事。
- (4)スポーツ推進委員及びスポーツ指導員に関する事。
- (5)学校体育関係事業に関する事。
- (6)体育館の管理及び運営に関する事。
- (7)社会体育関係一般的経理事務に関する事。
- (8)スポーツ傷害保険に関する事。
- (9)その他体育振興に関する事。

## 【図書館】

### (図書係)

- (1)図書館活動の計画作成に関する事。
- (2)図書及び資料の収集と保存に関する事。
- (3)図書及び資料の除籍及び蔵書に関する事。
- (4)図書館事業の企画立案及び実施に関する事。
- (5)各種団体、機関等の連絡・連携に関する事。
- (6)図書館協議会に関する事。
- (7)図書館施設・設備の管理運営に関する事。

## 【郷土資料館】

### (文化財保護係)

- (1)文化財保護及び調査に関する事。
- (2)銃砲刀剣類の登録に関する事。
- (3)文化財保護調査委員に関する事。
- (4)天然記念物指定鳥類保護監視員に関する事。
- (5)郷土資料館の管理運営に関する事。

## 第4章 学校等設置状況

### 1 学校等一覧

(令和5年4月1日現在)

#### ア 小学校

学校名	校長	教頭	開校年月日	ハき地指定
羅臼小学校	高橋 健司	佐藤 英雄	明治26年 6月12日	2級
春松小学校	藤吉 桂子	川端 祥子	明治33年11月 2日	2級

#### イ 中学校

学校名	校長	教頭	開校年月日	ハき地指定
知床未来中学校	西田 威嗣	角田 牧子	平成30年 4月 1日	2級

#### ウ 高等学校

学校名	校長	教頭	開校年月日	ハき地指定
羅臼高等学校	伊藤 新一郎	永原 竜	昭和50年 4月 1日	2級

#### エ 幼稚園

園名	園長	副園長	開校年月日	ハき地指定
羅臼幼稚園	官代 眞由美	田中 寿子	平成19年 4月 1日	2級
春松幼稚園	高原 美樹	藤本 郁美	平成19年 4月 1日	2級

## 2 在校児童・生徒数及び学級数

(令和5年4月1日現在)

区分	幼稚園・小学校・ 中学校・高校名	児童生徒数							学級数		
		1年生 (年少)	2年生 (年中)	3年生 (年長)	4年生	5年生	6年生	計	普通学級	特別支援	計
小学校	羅臼小学校	17	22	21	12	22	31	125	6	4	10
	春松小学校	16	8	9	16	15	18	82	6	3	9
	小計	33	30	30	28	37	49	207	12	7	19
中学校	知床未来中学校	37	30	37				104	3	4	7
高校	羅臼高等学校	18	21	7				46	3	-	3
幼稚園	羅臼幼稚園	17	12	17				46	3	-	3
	春松幼稚園	4	6	13				23	3	-	3
	小計	21	18	30				69	3	-	3

## 3 教職員数

(令和5年4月1日現在)

区分	幼稚園・小学校・ 中学校・高校名	校長・園長	教頭・副園長	教諭		養護教諭	栄養教諭	事務職員	公務補	計
				普通学級	特別支援					
小学校	羅臼小学校	1	1	10	5	1	1	1	1	21
	春松小学校	1	1	7	4	1	-	1	1	16
	小計	2	2	17	9	2	1	2	2	37
中学校	知床未来中学校	1	1	7	5	1	-	2	1	18
高校	羅臼高等学校	1	1	10	-	1	-	3	1	17
幼稚園	羅臼幼稚園	1	1	7	-	-	-	-	-	9
	春松幼稚園	1	1	5	-	-	-	-	-	7
	小計	2	2	12	0	0	0	0	0	16

※普通学級の教諭数、事務職員数には、加配含む

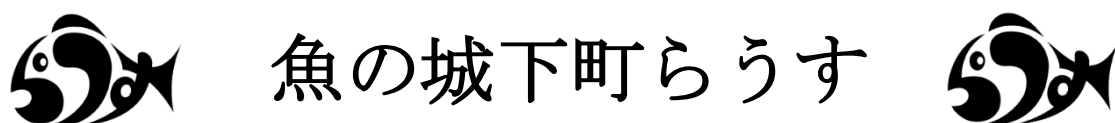
※会計年度任用は含まない

## 第5章 教育費執行状況

令和5年度予算執行状況については、教育費予算額4億5,804万7,900円に対し、支出済額は4億4,682万6,361円(執行率97.6%)で、不用額は、1,122万1,539円となりました。また、各項目別の支出額と教育費の支出額に占める割合は次のとおりです。

款	項	予算額(円)	支出額(円)	割合(%)
教育費	-	458,047,900	446,826,361	100.0
	1. 教育総務費	88,084,000	84,559,656	18.9
	2. 小学校費	56,726,000	55,195,744	12.4
	3. 中学校費	26,725,900	26,001,620	5.8
	4. 幼稚園費	18,886,000	18,022,845	4.0
	5. 社会教育費	98,903,000	96,280,544	21.6
	6. 保健体育費	168,723,000	166,765,952	37.3

# 令和5年度 教育行政執行方針



しなやかにたくましく生きる子どもの育成

羅臼町教育委員会



# 目 次

- 1. はじめに . . . . .
- 2. 羅臼町における教育行政推進の基本姿勢 . . . . .
- 3. 主要施策の推進
  - (1) 子供たち一人一人の可能性を引き出す教育の推進 . . .
  - (2) 学びの機会を保障し、質を高める環境の確立 . . . . .
  - (3) 地域と歩む持続可能な教育の実現 . . . . .
- 4. おわりに . . . . .

# 令和5年度教育行政執行方針

教育長 石 崎 佳 典

## 1. はじめに

令和5年羅臼町議会第2回定例会の開催にあたり、教育行政の基本姿勢および主要な施策について申し上げます。

人口減少や少子高齢化の進行、ICTなど情報通信技術やグローバル化の進展は、新型コロナウイルス感染症のまん延により加速度を増し、今後更に人工知能などの先進技術が高度化することで、社会の在り方そのものが劇的に変わる様相を呈しているところです。

このような変化の激しい時代において、児童生徒一人一人には、目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を導くことができる力が求められています。当町においても、児童生徒数の減少が続く中、このような求められる力を育成するためには、子供たちが集団の中で、認め合い、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質・能力を伸ばしていくという、学校の特質を十分に発揮できる教育環境の充実が必要です。

コロナ禍における学校の教育活動では、誰ひとり取り残さない学びの保証をするために、一人一台端末の整備などICT環境を整えることで充実が図られ、遠隔授業やオンライン学習など、ICTを活用した教育活動が広がりをみせました。

一方で、人と人が関わり合いながら成長することの価値や意義、自然体験活動や地域との交流など、オンラインでは代替できない実体験の必要性を再認識する機会となりました。当町が有する豊かな自然、多様な産業や歴史、文化など、ここにしかない資源、フィールドをよき教材として、学校教育と社会教育が両輪となって、全ての町民が主体的に活動し学び続ける、持続可能な地域づくりを進めていくことが重要です。

ふるさと羅臼町への誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支えあう人を育むため、「羅臼町教育大綱」を基に、町民の皆様と様々な分野について広く緊密な連携を図りながら、教育の充実・発展に取り組んでまいります。

## 2. 羅臼町における教育行政推進の基本姿勢

こうした認識のもと、教育行政に臨む基本姿勢を申し上げます。

当町の教育目標である「ふるさと羅臼の躍進を創造し、いきいきと逞しく行動する心豊かな町民の育成」の実現に向け、SDGs（持続可能な開発目標）17の目標を念頭に、「自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む」と「ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支えあう人を育む」という当町が目指す教育の基本方針のもと、「子供たち一人一人の可能性を引き出す教育の推進」「学びの機会を保障し、質を高める環境の確立」「地域と歩む持続可能な教育の実現」の3つを大きな柱とした施策を推進いたします。

## 3. 主要施策の推進

次に、主要な施策の概要を申し上げます。

## (1) 「子供たち一人一人の可能性を引き出す教育の推進」

はじめに、「子供たち一人一人の可能性を引き出す教育の推進」についてであります。

### ◆ 幼小中高一貫教育（中高連携）

当町では、すべての幼稚園、小・中学校、高校の教職員によって構成される「羅臼町幼小中高一貫教育推進協議会」において、3歳から18歳までの15年間を見通した一貫教育に取り組んでいます。

本年度は、読書習慣の確立、各種調査結果の分析による弱点克服、外国語教育の充実、一人一台端末の活用推進、生活のきまりの見直し、特別支援教育の充実に努めるとともに、中高連携については、乗り入れ授業を実施し、「4 質の高い教育をみんなに」「1 2 パートナーシップで目標を達成しよう」を目指します。

### ◆ 幼児教育の充実

幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基盤を培う上で大変重要なものであることから、幼稚園での活動全体を通して、幼稚園教育要

領で定める、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」への育みを実現させる、質の高い教育を提供できるよう関係機関と連携し、教員のニーズに応じた研修の充実を図ります。

また、幼稚園と小学校の円滑な接続を目指すため、協働で「架け橋期のカリキュラム」を作成し、「4 質の高い教育をみんなに」「パートナーシップで目標を達成しよう」を目指します。

#### ◆ 新しい時代に必要となる資質・能力の育成（学力向上）

幼小中高の共通の研究主題と、「羅臼町学力向上プラン」に基づき、確かな学力の育成に取り組むとともに、成果の発表の場として、幼稚園、小・中学校ごとに公開授業研究会を開催し、授業の検証を行います。

また、「一貫教」の学力向上部会において、各校の全国学力学習状況調査や標準学力検査結果を分析し、授業改善や生活習慣の改善に向けた提言を行い、実践を促すことにより、「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

#### ◆ 読書習慣の確立

全国学力学習状況調査から、「読書好きな児童生徒ほど、教科の学力が高い。科目、学力層、領域、設問形式によらずこの傾向が確認できるという意味で、これは非常に強固な傾向である」という結果が報告されています。

確かな学力を育成するためには、主体的・対話的で深い学びの実現はもちろんのこと、それを支える言語活動の充実が必要です。

言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めるため、また、読書好きな児童生徒を育成するため、学校における読書習慣の確立に向けた全校一斉読書の取組を強化し、「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

#### ◆ 特別支援教育の推進

特別支援教育は、特別な支援を必要とする子供の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を克服あるいは改善するため、適切な支援を行うことが必要です。

本年度は、特別支援教育支援員を各校1名ずつ増員し、より個に応

じた支援を行えるようにしました。

さらに、幼稚園や小中学校の特別支援教育コーディネーターなどを中心に、保護者や関係機関と連携した支援体制の充実に努め、個別の支援計画「こんぱす」の一層の活用を促進するとともに、より一人一人のニーズに沿った学習とするための指導計画を作成し、切れ目のない一貫した支援を目指します。

また、専門的な知識をもって指導できるよう、指導者への研修機会の充実に努めるとともに、支援が必要な子供を持つ保護者へのサポート体制として個別面談や研修会を充実させ、「3 すべての人に健康と福祉を」「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

#### ◆ キャリア教育の推進

キャリア教育は、子供たちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たして、自分らしい生き方を実現する力を身につけさせるものであり、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を見通した「羅臼町版キャリアパスポート」により、それぞれの個性に応じた進路の実現に繋がるよう努めます。

また、各種関係団体との連携のもと、当町の基幹産業である水産



業をはじめ、酪農や観光業、食品加工業など多種多様な職業体験の場の確保に努め、児童生徒の将来の職業選択の幅を広げさせることにより、「8 働きがいも経済成長も」を目指します。

#### ◆ 体力・運動能力の向上

「健やかな体を育む教育」に関し、小学校において実施した体育専科教員活用事業及び体育エキスパート教員巡回指導事業における授業改善の成果を継承します。

また、全学年で実施している新体力テストを通じ、児童生徒の実態を把握し、体育科の指導内容・指導方法の更なる工夫改善に努め、体力の向上を促し、「3 すべての人に健康と福祉を」「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

#### ◆ 健康教育・食育の充実

園児・児童生徒が自己の健康に関心を持ち、栄養バランスの取れた食事に心がけるよう、養護教諭や栄養教諭と連携した継続的な健康指導や食育指導を計画的に行い、健康や食に関する知識とバランスの良い健全な食生活を実践できる力を育み、「3 すべての人に健康と福祉を」「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

#### ◆ 道徳教育の充実

道徳教育については、自らの命の尊さを知ることや、自己肯定感を高めること、人を思いやる気持ちを育てていくことが大切であり、道徳の授業だけではなく、全ての教育活動において取り組むことが重要です。

道徳教育推進教諭を中心として、推進体制を確立するとともに、保護者や地域に向け、学習の様子を積極的に公開し、「3 すべての人に健康と福祉を」「16 平和と公正をすべての人に」を目指します。

#### ◆ ふるさと教育の充実（ユネスコスクールの活動充実）

当町では、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育を推進するため、知床学として「クマ学習」、「生態系学習」や「海洋教育」、「キャリア教育」などに取り組み、特にその中心となる「海洋教育」については、教材開発と授業実践を推進してきました。

本年度は、知床学の副読本を位置付けたカリキュラムの作成を行うとともに、他地域の先進校と意見交換や課題協議を行い、「海洋教育」の発展に努めてまいります。

E S D（持続可能な開発のための教育）を推進してきた当町は、ゼロ・カーボンの目標を追加し、S D G s という具体的ゴールに向かい、理解を深め、また、ふるさと教育の発展のため、教職員の研修機会の充実と「ユネスコスクール発表会」などを通じて情報発信を推進し、「1 1 住み続けられるまちづくりを」「1 3 気候変動に具体的な対策を」「1 4 海の豊かさを守ろう」「1 5 陸の豊かさも守ろう」を目指します。

◆ グローバル人材の育成（羅臼高校への支援の充実）

高校の魅力化については、様々なとらえ方があると考えられますが、生徒にとって魅力的であることが必要であります。当町では生徒や学校、地域の実態を踏まえ、社会の変化や生徒の多様な学習ニーズに対応した教育活動を展開することにより、大学進学や就職など多様な進路希望を実現できるとともに、保護者や生徒から選ばれる学校となることが重要と考えております。

これからも、高校の魅力化を推進するために、学校と地域が連携、協働し、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりの取組を町総掛かりで支援するとともに、この取組をさらに充実

させるため、積極的に情報を発信し、「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

#### ◆ 英語教育の充実

英語教育の充実のためALT（外国語指導助手）の2名体制を維持するとともに、授業のほかにイングリッシュキャンプを実施するなど、子供たちが日常的に英語によるコミュニケーションができる力を育ててまいります。

また、児童生徒が自らの英語力の向上を体感し、更なる高みを望む意欲を醸成するため、実用英語技能検定への受検を促し、将来的には中学校3年生卒業時に、実用英語技能検定3級合格率50%、高校3年生卒業時には、準2級から2級程度の合格率30%を目標に、「4 質の高い教育をみんなに」「17 パートナーシップで目標を達成しよう」を目指します。

#### （2）学びの機会を保障し、質を高める環境の確立

次に、「学びの機会を保障し、質を高める環境の確立」についてであります。

#### ◆ ICTの活用推進

ICTを活用した教育では、登校が困難な状況下であっても、「学びを止めない」教育環境実現のため、これまで一人一台端末の整備のほか、すべての小・中学校において環境を整備し、遠隔授業を実施しております。

また、引き続きすべての教科にデジタル教科書を導入するとともに、ICTの特性を生かし、個に応じた学習の充実が図られるよう努めます。

なお、急速に進む情報化社会に伴い、インターネットやSNSを活用する機会が増加することから、児童生徒には「情報モラル」を身につけ、思いやりのある行動がとれるようするとともに、客観的に判断する能力を育てるための「情報リテラシー教育」を継続し、「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

#### ◆ いじめ防止の取組の充実

いじめは、いじめを受けた児童生徒の教育を受ける権利を侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命または身体に重大な危険を生じさせるおそれがある

り、決して許されるものではありません。

「羅臼町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止、いじめの早期発見に取り組み、総合的かつ効果的に推進し、「10 人や国の不平等をなくそう」「16 平和と公正をすべての人に」「17 パートナーシップで目標を達成しよう」を目指します。

#### ◆ 不登校児童生徒への支援の充実

不登校児童生徒への支援にあたっては、児童生徒が自らの進路を主体的にとらえ、社会的に自立する方向を目指すように働きかけることが求められています。教育機会確保の趣旨や基本方針について共通理解を図るとともに、不登校対策につながる指導として、児童生徒にとって安全・安心な居場所となるための学校づくりや、分かりやすい授業づくり、児童生徒がSOSを出す方法を身に付けるための教育等に努め、「10 人や国の不平等をなくそう」「16 平和と公正をすべての人に」「17 パートナーシップで目標を達成しよう」を目指します。

#### ◆ 教職員の資質・能力の向上

教師個々の授業力を高めることが、学力向上に大きく関わることから、校内研修、幼小中高を対象とした合同研修会のほか、道立教育研究所と連携した研修講座を実施するとともに、小・中学校においては、北海道教育大学附属釧路義務教育学校と連携した研修を実施し、教師の授業力向上に努め、「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

#### ◆ 働き方改革の推進

学校における働き方改革の目的は、教員のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、人間性や創造性を高め、子供たちに対して、効果的な教育活動を行うことができるようになることでもあります。

取組期間を令和4年度から6年度までの3年間とし、教育委員会と小・中学校が緊密に連携・協力しながら、目標の早期達成に向けて全力で取り組み、「1 貧困をなくそう」「10 人や国の不平等をなくそう」を目指します。

#### ◆ 学びのセーフティーネットの構築

経済的理由等により就学の機会が損なわれることがないよう、支援を必要とするすべての児童生徒や保護者に対し、要保護者及び準要保護者に対する就学援助制度をはじめ、様々な就学支援に関する制度の活用を推進し、「1 貧困をなくそう」「10 人や国の不平等をなくそう」を目指します。

#### (3) 地域と歩む持続可能な教育の実現

次に「地域と歩む持続可能な教育の実現」についてであります。

#### ◆ 地域と学校の連携・協働の推進（コミュニティ・スクール）

子供たちを取り巻く教育環境は複雑化・多様化しています。

「社会に開かれた教育課程」の実現など、教育改革の動きや学校を核とした地域づくりを目指し、これからの時代を生き抜く力の育成が求められています。

羅臼町学校運営協議会は「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて、各学校区に地域学校協



働活動本部を立ち上げ、学校支援活動の充実を図り、「4 質の高い教育をみんなに」「1 1 住み続けられるまちづくりを」「1 7 パートナーシップで目標を達成しよう」を目指します。

#### ◆子育て支援・家庭教育支援

子育て・家庭教育については、子供自身が様々な課題を主体的に解決するための知識を身に付け、自律を促していく必要があります。

そのためには、学校・家庭・地域が連携して専門知識と技能を導入するための取組みを推進し、生活習慣の改善及び読書習慣の定着に向け、「4 質の高い教育をみんなに」「1 7 パートナーシップで目標を達成しよう」を目指します。

#### ◆生涯学習・社会教育の振興（人材育成・リーダー養成）

生涯学習・社会教育を推進する上で、少子化による人口減少と急速な高齢化により、当町においても担い手不足が深刻化しております。

社会教育では、核となって行動する人材の発掘及び育成とリーダ

一の養成に努め、地域課題やその解決に向けた方策に関する学習機会を提供することで、住民自らがよりよい地域づくりの担い手として、主体的に関わっていく土壌の形成に取り組み、「4 質の高い教育をみんなに」「1 1 住み続けられるまちづくりを」を目指します。

#### ◆団体支援

社会教育関係団体については、活動拠点でありました公民館がなくなったことにより、日々の活動が停滞していると認識しております。

生涯学習の基本理念である「いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができる学習社会の実現」を念頭に、学校開放事業を最大限活用し、安定した活動が継続できるよう支援することで、団体活動の活性化につなげ、「1 貧困をなくそう」「4 質の高い教育をみんなに」「1 2 つくる責任つかう責任」を目指します。

#### ◆スポーツ活動の推進

団体の定期活動については、これまで同様、継続的な活動ができ

るよう支援してまいります。

多様化するライフスタイルにより、競技スポーツを行う町民は減少傾向にある一方で、健康の保持増進を目的としたスポーツ活動は、それぞれの余暇時間にあわせて行われており、スポーツに親しむ機会を求める声も多いことから、引き続き、羅臼町スポーツ協会、羅臼町スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブらいずと連携し、事業展開してまいります。

また、少子化の中でも将来にわたり、中学校の部活動を継続するため、関係者による協議会を立ち上げ、当町にあった運営体制を検討し、生徒たちの活動環境を確保してまいります。

今年度は、クナシリ眺望駅伝競走大会をはじめとする各種大会が開催されます。町民が健康で明るく生涯スポーツに取り組めるよう関係団体と連携し、「3 すべての人に健康と福祉を」「11 住み続けられるまちづくりを」を目指します。

#### ◆ 安全・安心な教育環境の構築（防災教育の充実）

防災教育につきましては、北海道実践的安全教育モデル構築事業の指定を受け、大学や防災関係者による講演や授業等を行い、地域

住民や児童生徒の防災意識を高めることができました。

これまでの実践の成果を継続し、児童生徒の安全確保の観点から、地震や津波、台風などの自然災害発生時において、自ら身を守る能力と、共に助け合う能力をさらに高め、「11 住み続けられるまちづくりを」を目指します。

#### (施設の長寿命化)

教育施設等は児童生徒や町民の日々の学習や生活において多くの時間を過ごす場所であり、安全・安心で快適な環境の整備が求められています。また、生涯学習やスポーツの場として親しまれるとともに、災害が発生した際には避難所としての役割を果たすなど地域の拠点としての機能も期待されています。羅臼町教育施設等個別施設計画に則り、「12 つくる責任つかう責任」を目指します。

#### ◆ 芸術文化活動の推進

子供たちの芸術に対する感性や郷土の歴史・文化に対する理解を深め、多様な鑑賞機会の拡充や普及活動に、羅臼町文化協会と連携して取り組んでまいります。

また、次代を担う子供たちの生きる力を育むために、家読（うちどく）事業等を充実させ、子供の読書活動を推進してまいります。

新図書館については、生涯学習や情報拠点であるとともに、子育て世代や高齢者にも喜ばれるサービスを拡充させ、「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任つかう責任」「17 パートナースhipで目標を達成しよう」を目指します。

#### （文化財保護）

埋蔵文化財の保護につきましては、知床半島先端部の埋蔵文化財包蔵地周辺の資料を整備し、新遺跡としての登録に向けて取り組んでまいります。

また、学校等でふるさと学習に取り組むため、映像資料や重要文化財のレプリカの活用を図り、「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」「12 つくる責任つかう責任」を目指します。

#### 4. おわりに

以上、令和5年度に取り組む主要な施策を申し上げます。

園児・児童生徒が健やかで豊かな学びが続けられる地域づくりを推進するためには、学校・家庭・地域・行政の緊密な連携と、深い理解が不可欠です。

知床学をはじめとするふるさと教育を核としたESDを推進し、持続可能な教育環境の整備に努め、当町の教育の充実・発展に取り組んでまいります。

議員の皆様をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

# 羅 臼 町 教 育 大 綱

＝魚の城下町らうす＝



羅 臼 町

令和5年4月1日

## 目 次

はじめに

### 【教育の大綱】

- ◆大綱の策定について・・・・・・・・・・・・・・・・
- ◆羅臼町民憲章・・・・・・・・・・・・・・・・
- ◆羅臼町教育目標・・・・・・・・・・・・・・・・
- ◆羅臼町が目指す教育の基本方針・・・・・・・・

### 【実施施策】

- ◆3つの柱と取組み・・・・・・・・・・・・・・・・
- ◆関連連動する計画・・・・・・・・・・・・・・・・



## ◆はじめに

羅臼町こそ、子どもたちが楽しく学び、社会の中で生きていく力を育む絶好のフィールドであると思っています。これまで以上に学校と地域の連携を強化し、暮らし、資源、文化、産業を教材として生かすことができれば、子どもたちが、生涯にわたって学び続ける意欲を持つ、そんな教育を実現できる地域となります。学校の卒業後も地域で学ぶ楽しさを知り、学び続ける大人が増えるということが、学校や地域の活性化にとって非常に大事だと思います。学校教育と社会教育、それぞれの現場で羅臼町の強みを生かすことができれば、他の地域にない特色や魅力を持つ教育が実現できる。それを信じ、これから努力していきたいと思います。

そして、少子化、人口減少、デジタル化の進展など変化の激しい時代だからこそ、子どもたちが将来に夢や目標を持ち、その実現に向けて挑戦する力、様々な困難を乗り越え、豊かな人生を切り拓く力を身に付け多様な人たちと協働して持続可能な地域のつくり手に成長する。そうした力を育ててほしいとの思いのもと、本大綱を地域と連携しながら取り組んでいきたいと考えます。

羅臼町長 湊 屋 稔

## ◆大綱の策定について

### 1 大綱の性格

- この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定に基づき、羅臼町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、そのめざす姿や施策の根本となる方針を定めるものです。

### 2 大綱の構成

- 羅臼町民憲章及び羅臼町の教育目標を基にした「羅臼町が目指す教育の基本方針」を以て大綱とし、「3つの柱」である「子どもひとり一人の可能性を引き出す教育の推進」、「学びの機会を保障し、質を高める環境の確立」、「地域と歩む持続可能な教育の実現」の取組みを示しています。

### 3 大綱の対象期間

- 北海道教育大綱の対象期間に準じ、今大綱から期間を定めず、必要に応じて改定するなどの対応をいたします。

# 羅臼町教育大綱

## ◆羅臼町民憲章

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、  
オホーツクの海原の大自然に はぐくまれた羅臼の町民です

- 一、自然を愛し、先人の強い意志をうけつぎます
- 一、健康で、明るく楽しい家庭をつくります
- 一、教養を高め、豊かな情操を育てます
- 一、仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます
- 一、子どもたちの夢と、若い力を育てます

## ◆羅臼町教育目標

ふるさと羅臼の躍進を創造し  
いきいきと逞しく行動する 心豊かな町民の育成

## ◆羅臼町が目指す教育の基本方針

- 自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む
  - 知床羅臼町の豊かな自然、独自の歴史や文化への理解を深めながら、社会の変化に対応し、生涯にわたって生き抜く力を身に付け、自立の精神にあふれ、自分の良さや可能性を見だし、夢や目標の実現に向けて挑戦しながら、羅臼町はもとより国内外で活躍する人を育みます。
- ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支えあう人を育む
  - 生まれ育ったふるさとへの誇りと愛着を持ち、よりよい社会の実現に貢献しようとする主体性と責任感、規範意識などの倫理観、人間尊重の精神や思いやりの心を持って、お互いを尊重し、共に支え合いながら、持続可能な地域づくりを支える人を学校・家庭・地域との連携の下、知床羅臼町の町民総掛かりで育みます。

## ◆3つの柱と取組み

### ● 子ども達一人一人の可能性を引き出す教育の推進

(ア) 幼・小・中・高一貫教育

(イ) 幼児教育の充実

(ウ) 新しい時代に必要となる資質・能力の育成（小・中学生）

① 学力向上

② 読書習慣の確立

(エ) 特別支援教育の推進

(オ) キャリア教育の推進

(カ) 体力・運動能力の向上

(キ) 健康教育・食育の充実

(ク) 道徳教育の充実

(ケ) ふるさと教育の充実

① ユネスコスクールの活動充実

(コ) グローバル人材の育成

① 羅臼高校への支援の充実

② 英語教育の充実

### ● 学びの機会を保障し、質を高める環境の確立

(ア) ICTの活用推進

(イ) いじめ防止の取組みの充実

(ウ) 不登校児童生徒への支援の充実

(エ) 教職員の資質・能力の向上

(オ) 働き方改革の推進

(カ) 学びのセーフティネットの構築

### ● 地域と歩む持続可能な教育の実現

(ア) 地域と学校の連携・協働の推進

① コミュニティスクール

② 子育て支援・家庭教育支援

(イ) 生涯学習・社会教育の振興

① 人材育成・リーダー養成

② 団体支援

③ スポーツ活動の推進

(ウ) 安全・安心な教育環境の構築

① 防災教育の充実（学校施設・社会教育施設）

② 施設の長寿命化（学校施設・社会教育施設）

(エ) 芸術文化活動の推進

① 日本遺産関係

② 文化財保護

## 【関連連動する計画】

- 1 羅臼町第7期総合計画（H28～R5）
- 2 羅臼町第8次社会教育中期計画（R2～R5）
- 3 羅臼町子どもの読書活動推進計画（R3～R6）
- 4 学校における働き方改革 羅臼町アクション・プラン（第2期）  
（R4～R6）
- 5 羅臼町いじめ防止基本方針

# 羅臼町教育大綱 体系図

## 3つの柱と取組み

## 大綱

### 羅臼町民憲章

わたしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然に、はぐまれた羅臼の町民です

- 一、自然を愛し、先人の強い意志をうけつぎます
- 一、健康で、明るく楽しい家庭をつくります
- 一、教養を高め、豊かな情操を育てます
- 一、仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます
- 一、子どもたちの夢と、若い力を育てます

### 羅臼町教育目標

ふるさと羅臼の躍進を創造し、いまいきと逞しく行動する、心豊かな市民の育成

### 羅臼町が目指す教育の基本方針

- 自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む
  - 知床羅臼町の豊かな自然、独自の歴史や文化への理解を深めながら、社会の変化に対応し、生涯にわたって生き抜く力を身に付け、自立の精神にあふれ、自分の良さを可能性を見だし、夢や目標の実現に向けて挑戦しながら、羅臼町はもとより国内外で活躍する人を育みます。
- ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支えあう人を育む
  - 生まれ育ったふるさとへの誇りと愛着を持ち、よりよい社会の実現に貢献しようとする主体性と責任感、規範意識などの倫理観、人間尊重の精神や思いやりの心を持って、お互いを尊重し、共に支え合いながら、持続可能な地域づくりを支える人を学校・家庭・地域との連携の下、知床羅臼町の町民総掛かりで育みます。

### 子ども一人一人の可能性を引き出す教育の推進

(ア) 幼・小・中・高一貫教育  
 (イ) 幼児教育の充実  
 (ウ) 新しい時代に必要となる資質・能力の育成（小・中学生）

- ① 学力向上
- ② 読書習慣の確立

(エ) 特別支援教育の推進  
 (オ) キャリア教育の推進  
 (カ) 体力・運動能力の向上  
 (キ) 健康教育・食育の充実  
 (ク) 道徳教育の充実  
 (ケ) ふるさと教育の充実

① ユネスコスクール等の活動充実  
 (コ) グローバル人材の育成

- ① 羅臼高校への支援の充実
- ② 英語教育の充実

### 学びの機会を保障し、質を高める環境の確立

(ア) ICTの活用推進  
 (イ) いじめ防止の取組みの充実  
 (ウ) 不登校児童生徒への支援の充実  
 (エ) 教職員の資質・能力の向上  
 (オ) 働き方改革の推進  
 (カ) 学びのセーフティネットの構築

### 地域と歩む持続可能な教育の実現

(ア) 地域と学校の連携・協働の推進

- ① コミュニティスクール
- ② 子育て支援・家庭教育支援

(イ) 生涯学習・社会教育の振興

- ① 人材育成・リーダー養成
- ② 団体支援
- ③ スポーツ活動の推進

(ウ) 安全・安心な教育環境の構築

- ① 防災教育の充実（学校施設・社会教育施設）
- ② 施設の長寿命化（学校施設・社会教育施設）

(エ) 芸術文化活動の推進

- ① 日本遺産関係
- ② 文化財保護

## 第8章 令和5年度羅臼町教育の取組みの概要と評価

### ◆羅臼町教育目標

ふるさと羅臼の躍進を創造し

いきいきと逞しく行動する 心豊かな町民の育成

### 1 取組み概要と評価

【子ども達一人一人の可能性を引き出す教育の推進】

(ア) 幼・小・中・高一貫教育

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	幼・小・中・高の共通の研究主題と、「羅臼町学力向上プラン」に基づく教育を推し進め、「全国標準学力検査」において、正答率全国平均以上を目指す。
主な事業実施内容	前年度調査の分析を行い、その結果を各校に提供し、各校で作成した学校改善プランに基づき授業改善を促した。
事業経費(千円)	330
担当評価	C
成果又は課題	【成果】 ・小学校4年生の算数と5年生の国語が全国平均を上回った。 ・中学校1年生の英語が全国平均を上回った。 【課題】 ・特に中学校2年生と中学3年生理科以外の教科が前年度成績を大きく下回っている。更なる授業改革と家庭学習手引きの活用による家庭学習習慣の定着が必要である。
外部評価	C

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	幼・小・中・高一貫教育の学力向上部会研修推進係において、学力向上のため、様々な事業を実施し、教師力向上を目指す。
主な事業実施内容	幼・小・中・高一貫教育としての年間3回の授業公開研や各園・各校の授業研への積極的参加を促した。
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・小学校では公開学年担当者が毎回研究協議に参加した。また幼稚園がほぼ全員体制で授業研に参加していることから参加率が上がった。 【課題】 ・中・高の教員の事後研への参加が少ないので、次年度は公開研当日、各校午前授業にし、全員参加とするなどの工夫が必要である。
外部評価	B

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	幼・小・中・高一貫教育の学力向上部会研修推進係において、学力向上のため、様々な事業を実施し、教師力向上を目指す。
主な事業実施内容	「授業力アップ研修」を実施し、他市町の優れた実践を視察し、自己研鑽の機会を広げるよう促した。
事業経費(千円)	0
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・町内小中学校から24名の教員が他町の学校で研修を行った。自己研鑽の機会を広げることができ、教職員にも好評だった。 【課題】 ・研修の成果を他校にも広げる場を設定したい。
外部評価	A

(イ) 幼児教育の充実

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」への育みを実現させる質の高い教育を提供できるよう幼稚園教諭研修会を実施し、参加満足度3点以上(4点満点)を得る。
主な事業実施内容	○令和5年度幼稚園教諭研修会(R5/12/6) 講義名「幼小連携・保護者連携の好事例」 講師:根室教育局教育支援課 義務教育指導班 主査 松永 祐子 氏
事業経費(千円)	0
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・参加者の満足度は幼稚園教諭、小学校教諭ともに4点(4点満点)であった。 ・小学校からの参加者が両校とも複数名あり、10の姿の理解を深めることができた。 【課題】 ・特になし。
外部評価	A

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	幼稚園から小学校への円滑な学びの接続の充実するため幼・小の教諭が協働で「架け橋期のカリキュラム」を作成し、実施する。
主な事業実施内容	R5/12/20 に架け橋期のカリキュラム策定会議を実施し、R6/3/8 までに作成し、実施を促した。
事業経費(千円)	0
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・前年度作成したスタートカリキュラムは両地区とも確実に実施できた。 ・春松地区において「～幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿と小学校のつながり～」を意識したカリキュラムを作成した。 【課題】 ・1園化を見据え、羅臼地区においても作成が必要である。
外部評価	A

所管	図書館
令和5年度 事業目的・概要	【本との出会い講座・講演会】 親子の絆を深める家庭での読み聞かせを普及するため、絵本について学ぶ機会をつくる。
主な事業実施内容	①絵本パフォーマー岸田典大氏による講演会 場所:羅臼町民体育館 対象:幼児・小学生とその保護者 参加者:31名 ②本との出会い講座(一日入園説明会時) 対象~次年度幼稚園入園児保護者 内容~絵本の読み聞かせの重要性と読み聞かせが親子の絆を深めることの説明を実施。 ・開催場所 羅臼幼稚園(R6/2/15)16名 春松幼稚園(R6/2/14) 2名
事業経費(千円)	103
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・講演会では、絵本パフォーマンスを親子で観覧することで、子どもと保護者両方の絵本への興味関心を高めることができた。 ・講座では、幼稚園からの説明でも家庭での読書について触れてもらうことで、図書館と幼稚園の両方で家庭での読書を重要視していると保護者に伝えることができた。 【課題】 ・講演会では、参加者が出会ったことのない本やジャンルと出会えるように、様々なジャンルの講演内容を検討する必要がある。 ・講座では、幼稚園と連携して、一日入園以外でも保護者へ家庭での読書の重要性を伝える機会を検討する。
外部評価	B



(ウ) 新しい時代に必要となる資質・能力の育成(小・中学生)[①学力向上]

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	R5年度全国学力学習状況調査(小6・中3)に全校で参加し、正答率全国平均以上を目指す。
主な事業実施内容	前年度調査の分析を行い、その結果を各校に提供し各校での授業改善を促した。
事業経費(千円)	0
担当評価	C
成果又は課題	【成果】 ・春松小学校では国語の校内研修に積極的に取り組んだため、国語が全国平均を上回った。 【課題】 ・小学校、中学校の各教科とも、全国平均を下回っているため、さらなる授業改善を促す必要がある。
外部評価	C

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	全国平均以上を目指す学力向上の取り組みのため、北海道教育大学釧路校の学生による小学校第3学年から第6学年児童対象の学習支援事業であるアフタースクールを年2回行い、参加満足度3点以上(4点満点)を得る。
主な事業実施内容	○第1回 実施日～R5/9/9～10 実施校～羅臼小学校 参加児童～23名 ○第2回 実施日～R5/11/11～12 実施校～春松小学校 参加児童～26名
事業経費(千円)	0
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・前年度の参加者をはるかに上回る参加児童があり、参加児童の満足度は第1回、第2回ともに4点(4点満点)であった。 ・第2回に併せ、羅臼科学フェスティバル(羅・科フェ)も開催し、62名の幼児・児童・生徒が参加した。 【課題】 ・特になし。
外部評価	A

(ウ) 新しい時代に必要となる資質・能力の育成(小・中学生)[②読書習慣の確立]

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めるため、読書好きな児童生徒を育成する。
主な事業実施内容	学校における読書習慣の確立に向けた全校一斉読書の取組を強化するよう促した。
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校において、朝の時間等に一斉読書の時間を設けている。</li> <li>・全国学力学習状況調査の結果、中学校3年生において、「読書が好き」と回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力学習状況調査の結果、中学校3年生において、「平日授業時間以外で30分以上読書している」と回答している生徒の割合は、全国平均を大きく下回っているため、学校図書館司書によるさらなる啓発が必要である。</li> </ul>
外部評価	B

所管	図書館
令和5年度 事業目的・概要	【図書館バスガイダンス】 町内の子ども達に、公共施設を適切に利用する習慣や社会性を身につけてもらうため、利用指導を行う。
主な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各幼稚園・小学校1年生に実施。</li> <li>○移動図書館バスの利用方法、本の扱い方、借り方・返し方を指導している。</li> </ul> <p>羅臼幼稚園 R5/4/19～20 39名 春松幼稚園 R5/4/20 6名 羅臼小学校 R5/5/25 16名 春松小学校 R5/5/18 15名</p>
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館バス巡回時にガイダンスでの指導を守ろうとする姿や友達と決まりを教え合う姿から、公共施設の決まりを守る習慣や社会性を身に付けさせることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用ルールを移動図書館バス内に掲示するなど、利用ガイダンス後の支援を検討する。</li> </ul>
外部評価	B

所管	図書館
令和5年度 事業目的・概要	【読み聞かせ連携支援】 本の紹介や読み聞かせを行い、読書の動機付けを図る。また、司書との交流を図り図書館に親しみを持ってもらう。
主な事業実施内容	朝読書の時間で10分程度、読み聞かせや本の紹介を実施。 ・羅臼小学校(R5/5月～11月実施) …1～6年生 年間24回(こぐま、司書) ・春松小学校(R5/5月～R6/3月実施) …1～2年生 年間10回(ぐりぐら) 3～6年生 年間17回(学校ボランティア) ・羅臼幼稚園(R5/12月・R6/2月実施) …全クラス(12月) 1回(こぐま) 年長クラス(2月) 1回(こぐま)
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・読み聞かせサークルの活動が幼稚園や学校で定着しており、幼稚園・学校との連携もスムーズで、滞ることなく実施することができた。 【課題】 ・各サークルの抱えている課題・要望把握、課題への支援のため、各サークルと綿密に連携する。
外部評価	B

所管	図書館
令和5年度 事業目的・概要	【図書館のひみつ学習】 図書館の仕事について知ってもらい、適切に利用できるような援助する。また、本を紹介し読書の動機付けを図る。
主な事業実施内容	○図書館の施設の工夫、利用しやすくするための工夫、司書の仕事、分類、読み聞かせ、本の紹介を実施。 ○各学校を訪問し、説明を行う。 羅臼小学校3年生 ～R5/12/5 21名 春松小学校3年生 ～R5/12/7 9名
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・担任教諭と事前協議を行い、国語科や社会科の単元と連動した内容で実施することができた。 ・分類や蔵書検索サービス等の説明をすることで、子どもたちが自分で本を探すための方法を伝え、適切な利用につながる支援ができた。 ・図書館に関連する絵本を読み聞かせ・紹介を実施したことで、絵本や図書館への興味関心を高め、貸出に繋げることができた。 【課題】 ・今後も単元と連携させることができるよう担任教諭と連携し、開催日時や内容を検討する。
外部評価	B

(工) 特別支援教育の推進

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	特別な支援を必要とする園児・児童・生徒についてきめ細かな教育を行うため、指導者や保護者への研修機会の充実を図り、参加満足度3点以上(4点満点)を得る。
主な事業実施内容	①第1回特別支援教育研修会(R5/6/26) 講義名「自閉症の不思議な世界」 / 講師:きら星 丸山 芳孝 氏 ②第2回特別支援教育研修会(R5/11/28) 講義名「認知の仕方が異なる方への就労支援」 / 講師:きら星 丸山 芳孝 氏
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ①参加者数55名、満足度は3.9点(4点満点) ②参加者数38名、満足度は3.9点(同上) 【課題】 ・保護者の参加者は0名であったため、呼びかけの工夫が必要である。
外部評価	B

(オ) キャリア教育の推進

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たして、自分らしい生き方を実現する力を身につけさせるように努める。
主な事業実施内容	小学校1年生から中学校3年生までの9年間を見通した「羅臼町版キャリアパスポート」を活用するよう促した。
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・小学校、中学校とも、全学年で活用されている。 【課題】 ・近い将来に改訂が必要である。
外部評価	B

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	望ましい勤労観や職業観を育むため、水産業や酪農業、観光業、食品加工業などへの職業体験の実施や外部講師の活用を図る。
主な事業実施内容	中学校において地域コーディネーターに協力いただき町内事業所で職場体験を実施した。 ○事業者 …16事業所 ○参加者 …中学校3年生～31名
事業経費(千円)	0
担当評価	C
成果又は課題	【成果】 ・働くことの大変さや、やりがいについて気づいた感想文が多かった。 【課題】 ・生徒の希望を優先したため、水産業、酪農業、食品加工業に関する職場体験を希望する生徒がいなかった。学校側からの意図的な働きかけが必要である。
外部評価	C

(カ) 体力・運動能力の向上

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	体育授業の指導法改善を通して、小学生の体力運動能力を向上させ、全国体力運動能力調査における体力合計点全国平均点を上回る。
主な事業実施内容	春松小学校においては、体育専科活用事業の成果を継承するとともに、そのほかの学校においても、積極的に指導法の改善に努めるよう促した。
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校5学年において、体力点で羅臼小学校の男子と春松小学校の女子が全国平均を上回った。</li> <li>・中学校2学年において、体力点で女子が全国平均を上回った。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に50m走が例年全国平均を下回っている。</li> <li>・令和6年度からコオーディネーショントレーニングを再導入するよう検討する。</li> </ul>
外部評価	B

(キ) 健康教育・食育の充実

所管	給食センター
令和5年度 事業目的・概要	生涯にわたって健やかに生きるための基礎を培うことを目的とし、発達段階に応じた食育を実施する。
主な事業実施内容	<p>OR5年度食育実施日</p> <p>羅臼幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年少…R5/8/24、年中…R5/12/7、年長…R5/12/14</li> </ul> <p>春松幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年少…R6/2/27、年中…R6/2/27、年長…R6/2/27</li> </ul> <p>羅臼小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生…R5/10/11、2年生…R5/10/31、3年生…R5/11/7</li> <li>・4年生…R5/11/20、5年生…R5/12/1、6年生…R6/3/13</li> </ul> <p>春松小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生…R5/7/19、R6/1/31、2年生…R5/8/29、R5/11/6</li> <li>・3年生…R5/7/21、R5/11/29、4年生…R5/8/23、R5/12/5</li> <li>・5年生…R5/8/31、R5/12/13、6年生…R5/7/20、R5/11/17</li> </ul> <p>知床未来中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生…R5/7/4、R6/3/6、2年生…R5/6/26、R6/2/26</li> <li>・3年生…R5/5/22、R6/2/2</li> </ul>
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育学習実施後、給食の残食率は少なくなる傾向になり、偏食や食に対する否定的な態度が改善される事例が見られる。食育を通じて新たな食材に挑戦する意欲が高まり、バランスの取れた食生活が可能となる。児童生徒たちの意識改善が図られ効果が表れている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果を維持することが課題であり、授業時の意識づけや担任教諭との継続的な連携が必要である。</li> </ul>
外部評価	B

(ク) 道徳教育の充実

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	道徳教育推進教諭を中心として、推進体制を確立するとともに、保護者や地域に向け、学習の様子を積極的に公開する。
主な事業実施内容	各学校において、授業参観日や公開授業研の折に道徳の授業を積極的に公開するよう促した。
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・公開授業研や指導主事訪問時に授業を公開する教員が増えた。 【課題】 ・次年度以降、参観日等で全学級の公開をできるよう促す。
外部評価	B

(ケ) ふるさと教育の充実[①ユネスコスクールの活動充実]

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	海の豊かさや陸の豊かさを守る取り組みの達成に向け、特にその中心となる「知床学」の発展に努める。
主な事業実施内容	①ユネスコスクール研究発表会(R5/12/8) ②他地域の学校との交流 ・春松小学校5年生と埼玉県北本市立中丸小学校との交流学习(R5/7/14) ・屋久島町立宮浦小学校で交流(R6/1/12) ・竹富町立上原小学校とのオンライン交流(春松小学校)(R6/2/5) ・徳之島町立山小学校とのオンライン交流(羅臼小学校)(R6/2/8) ③教職員 ESD 研修会(R5/7/26) ④前年度作成した副読本を位置つけた海洋教育のカリキュラム作成 ⑤知床学士検定の実施(R5/10/18) 知床学士認定試験合格者～2級:2名、3級:5名 ⑥知床学小学生マスター認定制度の開始 …マスター認定者:延べ170名 ⑦教職員研修の実施 ・洋上クルージング(R5/7/8) ～参加者:6名 ・羅臼湖トレッキング(R5/6/24) ～参加者:9名
事業経費(千円)	0
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・他地域の学校との交流が深まり、これをきっかけに当町から交流事業として児童生徒を屋久島に派遣するまでに至った。 ・副読本を位置つけた海洋教育カリキュラムを作成した(2年計画の1年目)。 ・知床学士認定試験の受験者、合格者ともに前年度より減少したが、知床学小学生マスター認定制度導入により将来の知床学士認定試験受験への意識づけが期待できる。 【課題】 ・教職員の意識付け(研修の継続)が必要である。
外部評価	A



所管	社会教育課
令和5年度 事業目的・概要	【ふるさと少年探険隊】 ふるさとの自然に親しみ、豊かな心を養い、子ども達の郷土愛、忍耐力、協調心を育てる。
主な事業実施内容	○実施期間…R5/7/29～8/3 5泊6日 ○参加者 ・わんぱく隊:24名(内訳:小学4年生～8名、小学5年生～6名、小学6年生～5名、 中学1年生～5名) ・チャレンジ隊:4名(内訳:中学3年生～4名) ・同行スタッフ:32名(内、高校生スタッフ～4名) R5/11/18 ビデオ上映会 ～関係者約30名参加 R5/11/15～22 探険隊写真展(らうすぼ 1階廊下)
事業経費(千円)	1,677
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・地域スタッフとの連携が図られ、円滑な運営がなされた。 ・コロナ後初めての開催であったが、参加者数も以前の水準を保っている。 ・ミーティングを重ね、子どもの指導に対する共通意識を持って対応したことで、子どもたちの忍耐力や協調性等の成長に繋がった。 【課題】 ・大学、NPO 法人、企業等関係機関との連携強化が必要である。 ・新たな地域スタッフ確保と継続的且つ計画的な育成が必要である。 ・軸となるスタッフの高齢化が進んでいるため、次代を担うスタッフの発掘及び育成が必要である。
外部評価	B

所管	社会教育課
令和5年度 事業目的・概要	【ふるさと少年体験教室 知床Kids】 羅臼の自然を楽しみながら学習し、郷土・文化を愛する心を育てる。
主な事業実施内容	プログラムについては知床財団、環境省、郷土資料館と検討し、実施。 ①R5/5/27 開級式、シャチ、バードウォッチング 参加者16名 ②R5/7/2 チャシコツ磯遊び(ウトロ愛護少年団との交流事業) 参加者9名 ③R5/8/9～10 キャンププログラム ※参加者少数のため中止 ④R5/9/9 漁港の町、羅臼を知り尽くそう(アクアマリン) 参加者9名、kids 以外3名 ⑤R5/11/18 アイヌ民族の昔の遊び 参加者10名 ⑥R5/12/9 こまぐさ学級と餅つき交流会 参加者12名、こまぐさ学級19名 ⑦R6/2/12 鹿肉料理教室 参加者7名 ⑧R6/2/23 生き物観察会 in 湯ノ沢 参加者8名
事業経費(千円)	273
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・8月のキャンププログラム以外は一定の参加者を獲得し、滞りなく実施できた。 ・参加者が体験を通じてふるさと羅臼の自然や文化を理解することで、ふるさとへの愛着を深めることができた。 【課題】 ・参加者がマンネリしないように新規プログラムの開発・検討及び2～3カ年でのサイクル化が必要である。
外部評価	B

(コ) グローバル人材の育成[①羅臼高校への支援の充実]

所管	学務課
令和5年度 事業目的・概要	北海道羅臼高等学校が生徒や保護者から選ばれる魅力ある高校づくりを推進するための取り組みを支援する。
主な事業実施内容	○主な支援内容 ・新入生への PC 贈呈(新入生18名) ・修学旅行費用助成(生徒21名) ・海外留学費用助成(生徒2名)
事業経費(千円)	4,168
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・海外留学を経験した生徒が小・中学校で報告会を行い、北海道羅臼高等学校の魅力を児童生徒に伝えている。 ・R4から当支援を実施しており、新入生の人数は、R3・7名、R4・21名、R5・18名、R6・27名と増加維持傾向にある。 【課題】 ・少子化や転出等により、子ども達的人数が減少する見込みとなっているため、支援内容を固定するのではなく、実情に合わせた支援内容を検討していく。
外部評価	B



(コ) グローバル人材の育成[②英語教育の充実]

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	子どもたちが日常的に英語によるコミュニケーションができる力を育むため、授業のほかにイングリッシュキャンプ(イングリッシュ・フェスティバル)を実施し、参加満足度3点以上(4点満点)を得る。
主な事業実施内容	R5/10/7 に知床未来中学校において、小学生25名、保護者5名が参加し実施。
事業経費(千円)	0
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・参加者が昨年度より大幅に増加した。 ・参加者の満足度は 3.9(4点満点)。 【課題】 ・中・高生にも参加してもらうため、中・高生への呼びかけに工夫が必要である。
外部評価	A

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	児童生徒が自らの英語力の向上を実感するため、小学校6年生から受験を促し、中学校卒業時に英検3級合格率50%以上、高校卒業時に英検準2級から2級の合格率30%を目指す。
主な事業実施内容	○1回目 実施日～R5/7/7 ○2回目 実施日～R5/10/19 ○3回目 ※吹雪のため中止
事業経費(千円)	0
担当評価	C
成果又は課題	【成果】 ・中学校3年卒業時、3級合格者6名(16.2%)、高校3年卒業時、準2級合格者1名(14.3%)。 【課題】 ・昨年より増加したが、目標には達していないため、英語の学力向上のための授業改善に取り組む必要がある。
外部評価	C

【学びの機会を保障し、質を高める環境の確立】

(ア) ICTの活用推進

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	幼・小・中・高一貫教育の学力向上部会研修推進係において、1人1台端末の効果的な運用と活用方法を検討し、GIGAスクール構想の推進を図る。
主な事業実施内容	○ICTを活用した実践研修や授業研究を行い、教職員のICT活用技術の向上を促した。 ○羅臼町のGIGAスクール構想を踏まえて、1人1台端末の効果的な運用と活用を促した。
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・会議や授業公開等で、各校のICT活用状況を共有し、活用事例の情報交換ができた。 ・小・中学校ではロイロノートの活用が定着しており、授業の充実が図られている。 【課題】 ・町全体の底上げを図るため、学校DX戦略アドバイザーを招聘した研修の開催を検討する。
外部評価	B

(イ) いじめ防止の取組みの充実

所管	学務課
令和5年度 事業目的・概要	「羅臼町いじめ防止基本方針」に基づき、学校・家庭・地域、その他関係機関連携のもと、日ごろからいじめの未然防止と早期発見、早期対応に取り組む。
主な事業実施内容	○いじめの未然防止を図るため、対人関係を構築できる道徳心を養う教育等を実施する。 ○いじめの早期発見に取り組む、認知された場合は、複数の教員等による「いじめ対策委員会」により早期解決に向けた対応を図るとともに、再発防止に取り組む。
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・いじめ把握のためのアンケート調査の結果90件認知されたが、各学校において適正に対応し解決に至っている。 【課題】 ・法では、受け手が心身の苦痛を感じたものを「いじめ」と定義していることから、教職員の捉え方によっては差が生じてしまう。ささいな兆候であっても疑いを持ち、早い段階から複数の教職員で関わるよう取り組む。
外部評価	B

(ウ) 不登校児童生徒への支援の充実

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	やむを得ず登校できない児童生徒に対し、教育機会を確保するため、ICTの活用を図る。
主な事業実施内容	やむを得ず登校できない児童生徒に対し、オンラインによる授業の配信を促した。
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・1人1台端末を用いることによって、各小中学校において、授業を配信し、児童生徒が視聴することができた。 【課題】 ・オンライン双方向授業導入を検討する。
外部評価	B

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	児童生徒が不安や悩みを抱え、命の危機に直面したとき、誰に、どのように助けを求めればよいか、具体的かつ実践的な方法を学ぶため「SOSの出し方教室」を実施し、児童生徒の満足度3点以上(4点満点)を得る。
主な事業実施内容	○1回目(R5/8/28) 実施校～知床未来中学校 全学年 講師～羅臼町スクールカウンセラー 沼田 泉 氏 ○2回目(R5/10/4) 実施校～春松小学校 6年生、羅臼小学校6年生 講師～羅臼町スクールカウンセラー 沼田 泉 氏
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・小学生の満足度は3.5点(4点満点)、中学生の満足度は3.4点(4点満点)であり、学びを深めることができたと考える。 【課題】 ・継続的な実施が必要であるため、安定した講師の確保が必要である。
外部評価	B

(工) 教職員の資質・能力の向上

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	教員の資質の向上を図るため道立教育研究所と連携した研修を実施し、教職員の参加満足度3点以上(4点満点)を得る。
主な事業実施内容	R5/7/27 に道研地域連携講座兼教師力向上研修会「講座・演習1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」及び「講義・演習2 生徒指導の機能を生かした授業づくり」を開催した。
事業経費(千円)	0
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・講座・演習1の参加者の満足度は3.7点(4点満点)、講座・演習2の参加者の満足度は3.8点(4点満点)であり、教職員の資質の向上を図ることができた。 【課題】 ・高校の教職員が健診のため1日しか出席できなかったため、日程調整が必要である。
外部評価	A

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	北海道地方ESD活動支援センターの協力により、町内の幼小中高の教員対象に、ESDの理解と実践力を培うため、研修会を開催し、参加満足度3点以上(4点満点)を得る。
主な事業実施内容	R5/7/26 に元北海道教育大学副学長大津和子氏を講師としてESD研修会「講座 ESDの優れた授業をつくるために～「主体的・対話的で深い学び」を目指して～」を開催した。
事業経費(千円)	0
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・参加者の満足度は3.8点(4点満点)でありESDの理解と実践力を高めることができた。 【課題】 ・ESD研修会についてはパイオニアスクールプログラム事務局より、海洋に係わる研修会を行うよう指導があり、次年度改善する必要がある。
外部評価	A

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	心の不調や生き辛さを抱えた子どもたちが、自らの命を断つ道へ向かわせないために、ゲートキーパー研修を実施し、参加満足度3点以上(4点満点)を得る。
主な事業実施内容	R5/7/26 に羅臼町スクールカウンセラー沼田泉氏を講師として、羅臼町幼・小・中・高一貫教育研修会で講座「教員も知っておいて損のない自殺・自死予防」を開催した。
事業経費(千円)	0
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・参加者の満足度は3.8点(4点満点)であり、学びを深めることができた。 【課題】 ・講師の確保が難しいことから、他市町との連携が必要である。
外部評価	A

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	各小・中学校において、北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程と連携した研修を実施し、教師の授業力向上に努める。
主な事業実施内容	○R5/11/10に知床未来中学校の椿教諭、11/14に知床未来中学校の藤内教諭が、北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程を訪問し、授業視察を含む、集中指導を受講した。 ○小学校においては、釧教大附属義務教育学校後期課程の教諭による、外国語についての研修を計画した。
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・視察研修後、学び合いの場面を多く取り入れた授業が見られるようになり、指導を受けた成果が見られた。 【課題】 ・小学校の研修は、吹雪と新型コロナウイルス感染症の流行により実施できなかった。時期を早めるなどの工夫が必要である。
外部評価	B

#### (オ) 働き方改革の推進

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	これまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、人間性や創造性を高め、子ども達に対して、効果的な教育活動を行うため、教職員の時間外在校時間を、1か月45時間以内、1年間で360時間以内を目指す。
主な事業実施内容	○R4/2月に策定したアクションプランの周知徹底を図るとともに、3か月ごとに時間外在校時間の公表を行った。 ・R5年度各校一人当たりの月平均 春松小学校:41時間11分 羅臼小学校:35時間47分 知床未来中学校:37時間23分 ・R5年度 各校一人当たりの年平均 春松小学校:495時間 羅臼小学校:429時間 知床未来中学校:448時間
事業経費(千円)	0
担当評価	C
成果又は課題	【成果】 ・一人当たりの月平均が各校とも45時間を下回った。 【課題】 ・すべての学校で1年間の時間外在校時間が400時間超であったため、留守番電話や出退勤管理システムを導入するなどの対策が必要である。
外部評価	C

(カ) 学びのセーフティネットの構築

所管	学務課
令和5年度 事業目的・概要	経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒等の保護者に対し、要保護及び準要保護児童生徒の必要な就学援助費を支給し、義務教育の機会均等を図る。
主な事業実施内容	○前年度に幼稚園・小学校・中学校を通して申請書の配布。申請書を集約し教育委員会において認否を決定する。新年度に入ってから随時申請の受付と認否を行い適正な支援を実施。 ・令和5年度認定数 26世帯 31名
事業経費(千円)	3,215
担当評価	A
成果又は課題	【評価】 ・毎年度、各学校と担当者会議を開催し情報の共有を行い、対象者が漏れることのないよう連携を図り実施した。 【課題】 ・特になし。
外部評価	A

【地域と歩む持続可能な教育の実現】

(ア)地域と学校の連携・協働の推進[①コミュニティスクール]

所管	社会教育課
令和5年度 事業目的・概要	学校運営に関して羅臼町教育委員会及び校長の権限と責任のもと、保護者及び地域住民等の学校運営への参画促進や連携強化を進めることにより、幼小中高と地域住民等と信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成を推進する。
主な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営協議会の開催</li> <li>○コーディネーターの活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園での環境美化活動</li> <li>・キャリア教育(職場体験)での受け入れ先調整</li> <li>・小学校でのサケフレーク作り及びロープワーク体験</li> </ul> </li> <li>・鮭の稚魚放流体験</li> <li>・幼稚園、小学校でのホッケのかまぼこ作り</li> <li>○コーディネーターの研修事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月に帯広市、鹿追町、本別町への視察を実施。</li> <li>・北海道鹿追高等学校の俵屋校長を講師に招聘し、町民向けにコミュニティスクールに関する講演会を実施。</li> </ul> </li> </ul>
事業経費(千円)	431
担当評価	B
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターが積極的に学校に入り込んだ活動展開がされており、学校と地域の距離感を縮めてきている。</li> <li>・地域協働部会を高校中心に設立し、総合的な探究の時間との関わりを作る環境整備を行った。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティスクールコーディネーターの研修機会の継続的な提供が必要である。</li> </ul>
外部評価	B

(ア)地域と学校の連携・協働の推進[②子育て支援・家庭教育支援]

所管	社会教育課
令和5年度 事業目的・概要	<p>【羅臼町子どもの自律・親育ち応援チーム緒むすび】 子育てに関する事業を展開する関係機関と連携をとりながら子育て情報提供を行い、各種事業を通じて子育て支援に関する学習機会の提供を行う。</p>
主な事業実施内容	<p>○子どもの生活状況アンケートの実施・検証 ○講演会①「ぐちゃぐちゃ遊び・Asobi STEAM」 講師：日本乳幼児遊び教育協会 会田 夏帆 氏、谷藤 智美 氏 対象：未就学児から小学生とその保護者 36名参加 ○講演会②「メディアコントロールについて」 講師：(NPO)子どもとメディア 代表 中谷 通恵 氏 対象：羅臼小学校5年生、春松小学校全校生徒、知床未来中学校全校生徒 ○町内小学校の入学説明会において、保護者向けにメディアコントロールの重要性の説明を実施。 ○児童生徒の生活状況アンケートを実施し、結果を各小・中学校に配布した。</p>
事業経費(千円)	657
担当評価	B
成果又は課題	<p>【成果】 ・総合文化祭内の子どもまつりの中で、緒むすびの事業として「ぐちゃぐちゃ遊び、Asobi STEAM」を実施し、多くの参加者を確保できた。 ・入学説明会等で新入生の保護者向けにメディアコントロールについての説明を実施した。</p> <p>【課題】 ・時代の流れに沿った家庭内でのメディアコントロールに関するルール作りが必要である。 ・多くの保護者に講演や情報提供の場に参加してもらえるような工夫や仕掛けが必要である。 ・デジタルデバイスの利用制限だけでなく、学習における利便性等、有効利用の方法を学ぶ機会の提供が必要である。</p>
外部評価	B



所管	図書館
令和5年度 事業目的・概要	<b>【ブックスタート事業】</b> 絵本を仲立ちに、赤ちゃんと保護者が温かく楽しい時間を過ごし、親子の絆を深めてもらうきっかけづくりを行う。
主な事業実施内容	①ハッピー手づくり絵本教室(手作り絵本製作指導) 対象:プレママ(妊婦)・乳児の保護者 内容:赤ちゃんへの読み聞かせに対する関心を持ってもらうために、妊婦に生まれてくる赤ちゃんへプレゼントする絵本の製作を指導する。 実施日:R5/6/15 2名、R5/10/12 1名、R6/2/15 1名 ②ブックスタート(乳幼児相談時に実施) 対象:生後5～7か月の乳児及びその保護者 内容:家庭での読み聞かせにつなげるために、司書が赤ちゃんに読み聞かせを行っている場面を保護者に見てもらい、赤ちゃんへの読み聞かせの方法等を学ぶ機会を提供する。 配布物:ブックスタートセット(絵本1冊、絵本リスト、図書館利用案内、利用登録用紙、当日・後日アンケート、特製バッグ) 実施日:R5/6/12 9組、R5/9/12 2組、R5/12/12 3組、R6/3/13 5組 ③移動図書館バス巡回と読み聞かせ(月1回子育て支援センター「ありんこ」読み聞かせ) 対象:「ありんこ」を利用している幼児とその保護者 内容:絵本の読み聞かせ、図書館バスでの貸出 実施月:R5/4月～R6/3月 計11回
事業経費(千円)	52
担当評価	B
成果又は課題	<b>【成果】</b> ・絵本教室では、保護者自身で我が子のための絵本を作ることにより、絵本への関心が高まり、親子での読書活動へ繋げるきっかけをつくることができた。 ・ブックスタートでは、保護者への当日アンケート「今後絵本を読んであげようと思いましたか」の設問に「思った」の回答が100%であり、家庭での読み聞かせに繋げる働きかけができた。 ・移動図書館バス巡回及び読み聞かせでは、親子でコミュニケーションを取りながら読み聞かせを楽しむ姿が見られ、親子の絆づくりを支援できた。 <b>【課題】</b> ・絵本教室では、妊婦の参加者獲得のため、保健福祉課とさらなる連携が必要である。 ・ブックスタートでは、後日アンケートの回答率を上げるため、アンケートの実施方法について検討する必要がある。 ・移動図書館バス巡回及び読み聞かせについて、子育て支援センターと連携して移動図書館バスの利用につながる働きかけを検討する。
外部評価	B

所管	図書館
令和5年度 事業目的・概要	【第22回らうす古本市】 限られた資源を有効活用しようとするリサイクルの時代に、不要になった本や雑誌を町民に還元することにより再活用してもらい、この活動を通して図書館活動への関心を持ってもらう。
主な事業実施内容	○図書館の除籍本や町民からの寄贈本を無料で還元する。 ○羅臼町総合文化祭と同時開催。 日時:R5/11/23~26 会場:羅臼町民体育館 玄関スペース 来場者数:延べ200名 還元冊数:432冊
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・前年度まで規模を縮小して実施していたことにより、古本市用図書の本ストックが多く、豊富な冊数を提供することができた。 ・総合文化祭と同時開催することにより、図書館への興味関心が低い町民にも図書館活動を知ってもらう機会を提供できた。 【課題】 ・新図書館移転時に古本市用の除籍本が多く発生し、総合文化祭との同時開催時だけではなく、図書館独自の古本市開催を検討し、町民還元の機会をつくる。
外部評価	B

所管	図書館
令和5年度 事業目的・概要	【図書館バス巡回事業】 学校や幼稚園を中心に巡回するとともに、子育て世帯や高齢者など図書館から離れた地区に住む町民等へ、図書館サービスを提供し、読書に親しむ環境づくりを進める。
主な事業実施内容	○巡回場所:19ヶ所 ・町内個人宅、小学校、幼稚園 月2回 ・中学校、高齢者施設、子育て支援センター 月1回 ・利用状況 5,679冊(内児童書 4,355冊) ・前年比 588冊減(内児童書 1,024冊減)
事業経費(千円)	177
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・定期的に巡回を行うことで、町内の地理的格差に対応した読書環境を提供することができた。 【課題】 ・利用者の固定が見られたため、小学校や中学校、子育て支援センターと連携し、新規利用者を獲得するための働きかけを行う。
外部評価	B

所管	図書館
令和5年度 事業目的・概要	【図書館相談事業】 学校等の読書相談に応じ、町民の調べものや相談にきめ細かく対応しながら生涯学習の推進を図る。
主な事業実施内容	○学校連携支援 ・知床未来中学校職業体験受入 R5/7/11 1名 ・小学校図書館見学 羅臼小学校 ~R5/6/19 24名、R5/10/23 7名 春松小学校 ~R6/1/22 10名 ○通常サービス ・団体貸出 5,720冊 ・予約・リクエスト 412件 ・参考調査 19件 ・利用相談 126件 ・相互貸借 借受 34冊 貸出3冊 ・図書宅配サービス 0件
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・道立図書館や道内各地の図書館と連携し、蔵書のない本のリクエストにも滞ることなく対応することができた。 ・小学校からの図書館見学では、ボランティアや読み聞かせサークルにも協力してもらいながら対応することができた。 【課題】 ・新図書館移転に伴い、約2万冊の蔵書を除籍したため、利用者からのリクエスト本が蔵書にないことが多く想定されることから、道立図書館をはじめ、道内各図書館と連携して迅速に対応する。
外部評価	B

所管	図書館
令和5年度 事業目的・概要	【家読推進事業】 羅臼町子どもの読書活動推進計画を基に、子どもが読書に親しみながら成長するための環境整備の一環として、家庭での読書習慣の定着を図る。
主な事業実施内容	<p>①家読セットの貸出 絵本4冊、紙芝居1冊のセットを作成し貸出を行う(図書館と各幼稚園に設置)</p> <p>・貸出実績 図書館セット 11名 55冊 羅臼幼稚園セット 45名 225冊 春松幼稚園セット 106名 530冊</p> <p>②セカンドブック事業 [5月]図書館特製バッグとおすすめ本リストを贈呈する(図書館バス利用ガイダンスと同時実施) 羅臼小学校 R5/5/25 17名 春松小学校 R5/5/18 17名 [7月]おすすめ本リストから子どもが選んだ本を贈呈する 羅臼小学校 R5/7/20 16名 春松小学校 R5/7/21 16名</p> <p>③家族みんなで読書登山 北海道日本ハムファイターズ事業「本を読んでファイターズを応援しよう！」に町で参加(らうす寺子屋 kids と連携) 内容:期間内に目標冊数を読めたらファイターズ特製シャープペンシルをプレゼントする。 対象:町内小学生 参加児童:20名</p>
事業経費(千円)	764
担当評価	A
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家読セットでは、貸出を開始し、家庭での読書活動を推進することができた。</li> <li>・セカンドブック事業では、移動図書館バスで使用できるバックや子ども自身で選んだ絵本をプレゼントすることで、家庭での読書につながるきっかけをつくることができた。</li> <li>・家族で読書登山では、らうす寺子屋 kids と連携させて実施することで、キャンペーン参加者が増加し、子どもたちの夏休み期間中の読書活動を推進することができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家読セットでは、約2か月の入れ替えでは、子どもたちが飽きてしまうとの幼稚園からの意見から、幼稚園と確認をしながら、セットの入れ替え時期を検討する。</li> <li>・セカンドブック事業では、おすすめ本リストの中で、プレゼントした絵本以外も読んでもらえるように働きかけを検討する。</li> <li>・家族で読書登山では、らうす寺子屋 kids 参加者以外の小学生の参加を促す働きかけを検討する。</li> </ul>
外部評価	A

所管	図書館
令和5年度 事業目的・概要	【資料整備事業】 町民一人ひとりの資料要求にきめ細かく対応し、個人学習を支援する。
主な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育に必要な資料の充実</li> <li>・高齢化に伴う大活字本の整備</li> <li>・社会情勢や教育に関する本や町民の生活課題に役立つ本の整備</li> <li>・青少年の読書意欲を高める本の充実</li> <li>・赤ちゃん絵本や子育てに関する本の充実</li> </ul> } 計 1,004 冊 ○視聴覚資料の整備 …37 点 ○蔵書の新鮮化を図るために、資料価値を見極めながら除籍を行う。 ○予約・リクエストサービスの充実 …412件 ○道内図書館相互貸借の利用 …借受:34冊 / 貸出:3冊
事業経費(千円)	2,000
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・予約・リクエスト本の対応を滞りなくできた。 ・蔵書にない本へのリクエストには、道立図書館をはじめとする道内図書館との相互貸借を活用することにより対応できた。 【課題】 ・各種文学賞受賞作品の情報収集を積極的に行い、スムーズに町民リクエストに応えられるように準備する。 ・図書資料と視聴覚資料のバランスを考えながら購入に偏りがないように購入していく必要がある。
外部評価	B

所管	図書館
令和5年度 事業目的・概要	【蔵書検索システムの継続・オンラインシステムを活用した情報発信】 町民の利便性を保持するため、資料整備及び蔵書検索機能の継続と充実を図る。
主な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○蔵書検索システムの利用促進</li> <li>○1日平均416アクセス(蔵書検索ページ)</li> <li>○図書館 HP のコンテンツ「今日の1冊」にて所蔵資料をランダムに紹介する。</li> <li>○羅臼町図書横断検索:2件(8冊)</li> <li>○学校図書館               <ul style="list-style-type: none"> <li>・春松小学校 R5 年度貸出実績:1,948 冊(R4年度:1,481 冊)</li> <li>・羅臼小学校 R5 年度貸出実績:900 冊(R4年度:1,146 冊)</li> <li>・知床未来中学校 R5 年度貸出実績:615 冊(R4年度:431 冊)</li> </ul> </li> </ul>
事業経費(千円)	1,189
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・図書館と町内小・中学校の蔵書を検索できる「羅臼町図書横断検索」の運用を開始することができた。 【課題】 ・横断検索の利便性を積極的に周知していく必要がある。
外部評価	B

(イ)生涯学習・社会教育の振興[①人材育成・リーダー養成]

所管	社会教育課
令和5年度 事業目的・概要	【リーダー養成事業】 ボランティア活動や教育委員会等の各種事業、研修を通じて、組織的学習活動の助長を図り、リーダーを養成する。
主な事業実施内容	○羅臼町活性化ワーキンググループ ・しれとこ羅臼こんぶフェスタの実施(R5/7/22~23) ○青年先進地視察事業 ・青年団体との懇親会(R6/2/8) 内容～羅臼漁業協同組合青年部、羅臼町商工会青年部、羅臼町役場青年部が集まり、それぞれの課題共有・意見交換を行った。 ・青年まちづくり講演(R6/3/28) 内容～美幌町の青年活動の取組内容や若手ができるまちおこしについて。 参加者 10人
事業経費(千円)	358
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・羅臼町活性化ワーキンググループの事業に対して団体支援を行ったことで、円滑な事業運営に繋がった。 ・視察事業の前段として町内の青年団体間での協力体制が築けるよう懇親会などアプローチを仕掛けることができた。また、団体間の繋がりができたことで、リーダー同士が互いの活動を意識するような機会の創出となった。 【課題】 ・青年団体間の連携・協力体制の構築するために各団体と協議検討をする必要がある。
外部評価	B

所管	社会教育課
令和5年度 事業目的・概要	【20歳の集い】 20歳となったことを祝い、社会人としての有意義な人生を歩むよう誓い、励ます機会の提供及び実行委員会での企画立案等を通じて、社会でも生きる人材を育てる。
主な事業実施内容	○式典(R6/1/7) ○実行委員会企画 ・実行委員会制作ムービー上映、実行委員会企画ミニ LIVE(20歳の集い対象者による演奏) ・記念講演 講師:阿部 真奈 氏(テレビユー福島報道記者) ・講演テーマ:東日本大震災の教訓(※羅臼町公式 youtube での配信を実施)
事業経費(千円)	500
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・20歳の集い実行委員会を中心に企画から準備を進め、当日の式典及びプレゼンテーションの運営を通して人材育成が図られた。 【課題】 ・毎年同じ取り組みではなく、その年の対象者(実行委員)にあった、アプローチや取り組みを検討する必要がある。 ・町内在住の対象者が少数であり、活動が行いづらい環境であるため、町外在住者とオンラインで繋げる等の工夫が必要である。
外部評価	B

所管	社会教育課
令和5年度 事業目的・概要	【水産教室】 次代を担う高校生を対象に、基幹産業である漁業を中心とした地元の産業に関する知識や技術を学ぶ機会とする。
主な事業実施内容	水産専科生(北海道羅臼高等学校3年生) 6名 ○開級式・記念講演 講師:元地域おこし協力隊 佐脇 星 氏 ○ロープワーク①～② 講師:羅臼漁協定置青年会 ○プレゼン学習 ○ダイビング講習(①～④) 講師:知床ダイビング企画 ○施設見学① ウニ種苗センター見学 ○ダイビング実習①～⑤ 講師:知床ダイビング企画 ○SDGs プログラム 講師:デナジー株式会社 ○海難防止講習 講師:海難防止・水難救済センター ○施設見学② 海洋深層水取水施設、加工場 ○鮭に関する実習 会場:標津町サーモン科学館 ○鮭トバ加工実習 講師:羅臼漁協定置青年部 ○鮭のチャンチャン焼き作り ○ブランド化・マーケティング授業 講師:産業創生課 ○郷土料理実習・加工品作り ○EM 菌石鮎製作実習 ○閉級式・記念講演 講師:知床ダイビング企画 新倉 里希 氏
事業経費(千円)	1,268
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・漁業に必要な知識やスキルを現役漁師や漁協職員等から学んだ他、地域の魅力について、プログラムを通じて伝えることができた。 【課題】 ・漁業の現状や課題を把握したうえで事業の方向性やプログラムを開発して効果的な実施に繋げていく必要がある。 ・プログラム内容のブラッシュアップを継続して行う必要がある。
外部評価	B



(イ) 生涯学習・社会教育の振興[②団体支援]

所管	社会教育課
令和5年度 事業目的・概要	【社会教育関係団体支援】 団体をリードする人材の発掘・養成を推進し、自主自立を目指した継続的な支援・育成を図る。
主な事業実施内容	○下記団体への活動支援を実施。 [社会教育関係団体] ・羅臼町文化協会、羅臼町スポーツ協会、羅臼町スポーツ少年団本部 ・羅臼町子ども会育成協議会、羅臼町女性団体連絡協議会、羅臼町 PTA 連合会 ・NPO 法人羅臼スポーツクラブらいうず [その他団体] ・羅臼町活性化ワーキンググループ、Join-Rausu 美活塾
事業経費(千円)	1,120
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・概ね各団体ともに自主的に活動がなされている。北海道や管内事務を除き、町内での事業や役員会は自主運営をしている。 【課題】 ・団体の実情に応じた自主・自立を継続できるような活動支援を行う必要がある。 ・団体の中心となる人材の発掘及び育成を継続する必要がある。
外部評価	B

所管	図書館
令和5年度 事業目的・概要	【読み聞かせサークルの支援】 読書活動に携わる既存団体を支援し、活動内容の魅力を高める。
主な事業実施内容	○各サークルとの連携と支援 [羅臼地区担当] こぐまちゃんサークル ・羅臼小学校(R5/5月～11月実施) / 1～6年生 年間24回(こぐま、司書) ・サークル総会に司書が出席、サークルの年間の活動と図書館事業への協力体制等を確認・協議した。 [春松地区担当] ぐりとぐらのえほんぼけっと ・春松小学校(R5/5月～R6/3月実施) / 1～2年生 年間10回(ぐりとぐら) ・サークル会員から選書やサークル活動についての相談があった際に随時対応策や支援策を協議し実施した。
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・こぐまちゃんサークルの幼稚園での読み聞かせが追加になった際、選書や読み聞かせのプログラム構成の相談に対応し、サークルが新しい活動を開始する際の支援ができた。 【課題】 ・サークルとのコミュニケーションを積極的に取り、対話や情報共有を行う機会を作っていく必要がある。
外部評価	B



(イ)生涯学習・社会教育の振興[③スポーツ活動の推進]

所管	社会教育課
令和5年度 事業目的・概要	【各種関連事業】 練習成果発表の場及び町民相互の交流機会を提供する。
主な事業実施内容	○根室管内スポーツ交歓大会 R5/9/3 中標津町 ○クナシリ眺望駅伝競走大会 R5/10/8 羅臼町内 ○根室管内親睦ミニテニス交流会 R5/11/25 別海町 ※不参加 ○総合型地域スポーツクラブ協働事業 ~随時 ○羅臼町スポーツ協会加盟団体各種町民大会 ~随時
事業経費(千円)	45
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・各関係団体や町民に周知するなどし、交流の機会を提供する。 【課題】 ・参加者を増やすために、町内スポーツ関係団体と連携を強化して、参加奨励をする必要がある。
外部評価	B

所管	社会教育課
令和5年度 事業目的・概要	【指定管理委託事業】 地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を活発化させるとともに、自主活動の促進を図る。
主な事業実施内容	○ノルディック講習会(熊多数出没により中止) 申し込み~6名 ○高齢者スポーツ出前教室(ぴんぴんキラリいきいき体験教室) 日時:R5/5/10~R6/2/21 毎週水曜日:計38回
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・高齢者スポーツ出前授業に関しては、継続的に実施できており、健康増進が図られている。 【課題】 ・社会体育の現場である町民体育館の指定管理者の「総合型地域スポーツクラブらいず」との連携、協力を強化する必要がある。
外部評価	B

(ウ) 安全・安心な教育環境の構築[①防災教育の充実(学校施設・社会教育施設)]

所管	教育指導主幹
令和5年度 事業目的・概要	児童・生徒の安全確保の観点から、自然災害において、自ら身を守る能力の育成に向けた防災を含む安全教育の一層の充実を図る。
主な事業実施内容	○一日防災学校を下記のとおり実施。 ・羅臼幼稚園 ~R5/9/1 ・春松幼稚園 ~R5/9/20 ・羅臼小学校 ~R5/9/8 ・春松小学校 ~R5/9/6 ・知床未来中学校 ~R5/9/22
事業経費(千円)	0
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・北海道教育大学釧路校の学生による津波の授業や寸劇を実施していただいたことにより、授業で得た知識を家庭で話している姿が見られた。 ・幼稚園でも学生による寸劇を実施していただいたことにより、幼児の地震に対する関心を高められた。 ・消防署や自衛隊等の関係機関と連携することができた。 【課題】 ・学生による授業の継続化のため、引き続き北海道教育大学釧路校や气象台との連携が必要である。
外部評価	A

(ウ) 安全・安心な教育環境の構築[②施設の長寿命化(学校施設・社会教育施設)]

所管	学務課
令和5年度 事業目的・概要	「羅臼町教育施設等長寿命化計画」に則り、各小中学校及び幼稚園の改修等を実施し、教育環境の充実を図る。
主な事業実施内容	羅臼小学校敷地内の倉庫として使用していた教職員住宅2戸を解体し、代わりとなる倉庫を新設した。
事業経費(千円)	住宅解体 4,125 倉庫新設 2,030
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・老朽化した、羅臼小学校敷地内の教員住宅2戸を解体したことにより、付近を通学路とする児童の安全確保のほか、飛散等による近隣住宅への被害防止が図られた。 【課題】 ・羅臼町教育施設等長寿命化計画により、各施設の維持管理を図るとともに、今後の学校・幼稚園規模に応じ、計画の見直しを行う必要がある。
外部評価	A

所管	社会教育課
令和5年度 事業目的・概要	各スポーツ施設の整備及び効果的な開放の促進を図る。
主な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○羅臼町民体育館指定管理者(R4～R6)</li> <li>・NPO 法人羅臼スポーツクラブらいたへ指定管理業務を委託。</li> <li>○学校開放事業</li> <li>・町内小中学校を団体活動の場として開放。</li> <li>○温水プール</li> <li>・R5年度より社会教育課所管。</li> <li>・プール槽のシート張替と受水槽更新工事を実施。</li> <li>○総合運動公園</li> <li>・R5年度より社会教育課所管。</li> <li>・球場バックネット裏観覧席を撤去し、芝生の張替え工事を実施。</li> <li>○パークゴルフ場</li> <li>・R5年度より社会教育課所管。</li> <li>・管理棟の外壁改修工事を実施。</li> </ul>
事業経費(千円)	99,433
担当評価	B
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理が定着し、受託業者である NPO 法人羅臼スポーツクラブらいたも利用者懇談会を開くなど、利用しやすい施設を目指した取り組みがされている。</li> <li>・プールや球場等の老朽施設の改修を実施し、施設の利便性や安全性が向上した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更に利用しやすい拠点づくりを目指して利用者団体等と意見交換を継続的におこなう。</li> <li>・羅臼町全体の施設を有効活用しスポーツ活動や芸術文化活動の停滞とならないよう工夫が必要。</li> </ul>
外部評価	B

(工) 芸術文化活動の推進[①日本遺産関係]

所管	郷土資料館
令和5年度 事業目的・概要	<p>【日本遺産推進事業】</p> <p>日本遺産のストーリーを活用して、町内外へ重要文化財である北海道松法川北岸遺跡出土品の周知を図る。また、これを展示する郷土資料館のPRも図る。</p>
主な事業実施内容	<p>○講座</p> <p>①オホーツク文化に見るアイヌ精神文化の鼓動(R5/9/30)(三重県松浦武四郎記念会館)</p> <p>○巡回展</p> <p>①日本遺産普及啓発展示会 in ウポポイ(R5/7/21～7/23)白老町ウポポイ</p> <p>②日本遺産普及啓発展示会 in 松浦武四郎記念会館(R5/9/29～11/26) 三重県松阪市</p> <p>③日本遺産 in 羅臼ビジターセンター(R5/10/10～R6/1/21)</p> <p>○北海道松法川北岸遺跡の映像資料及びレプリカの活用</p> <p>①映像資料の資料館での展示</p> <p>②レプリカの巡回展での活用</p> <p>③レプリカ3D モデルを活用したカプセルトイの製作</p>
事業経費(千円)	200
担当評価	A
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内外で巡回展を計3回開催し、松法川北岸遺跡出土品の周知及び郷土資料館のPRを行い、周知できた。</li> <li>・3回の巡回展においてレプリカを活用し展示を行い、実物を見るために来館する人も多くいることから周知の効果が表れている。</li> <li>・資料館での映像資料は、夏季についてはほぼ毎日視聴されており、英語字幕版も活用されていることから、外国からの来館者にも周知が図れている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本遺産自体の知名度があまり高くないが、町外周知へは郷土資料館単体で実施することは難しく、今後も1市3町で連携して行う。</li> </ul>
外部評価	A

(工)芸術文化活動の推進[②文化財保護]

所管	郷土資料館
令和5年度 事業目的・概要	【諸会議】 文化財保護の観点から、その保存及び活用、各種事務運営の促進を図り、地域に根ざした推進方策を考える。
主な事業実施内容	○文化財保護調査委員会 ①第1回(R5/6/6) / 委員6名出席 ②第2回(R5/11/24) / 委員5名出席 ③第3回(R6/2/15) / 委員5名出席 ④第4回(R6/3/18) / 委員5名出席
事業経費(千円)	79
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・文化財保護調査委員からは文化財の保護、資料館の運営に関しては周知方法についてなど意見が出されている。 ・新規則制定及び制定後の運用に関してオジロ・オオワシの一斉調査の方法や営巣調査の方法などについて意見が出されている。 【課題】 ・文化財保存活用地域計画は周辺市町村でも策定及び策定への着手が進められており、これに対する調査を行う。
外部評価	B

所管	郷土資料館
令和5年度 事業目的・概要	【国指定天然記念物保護事業】 国指定天然記念物の保護と生態、生育環境の調査、一斉調査を行う。
主な事業実施内容	○オジロワシ長期モニタリング調査協力 ①営巣地2か所の計6回の調査 ②R5/12/11 集計会議(郷土資料館) ③新しい巣の確認調査で1か所発見 ○通常監視 ~5名の監視員によるオジロ・オオワシの通常監視 ○町内オジロ・オオワシ一斉調査 ~R6/2/18 実施/660羽カウント ○指定鳥類保護監視規則の在り方検討会議 ①国指定鳥類保護監視員に対するアンケート調査 ②検討会議(R5/10/2) …監視員3名出席
事業経費(千円)	280
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・オジロワシの新しい巣を発見した結果、生育環境の調査を正確に行えるようになった。 ・国指定鳥類保護監視規則は現状と合わなくなっていたことが課題であったが、指定鳥類保護監視員と協議を図り、新規則の制定となった。 【課題】 ・新規則による調査は R6年度より実施するため、実施と検証を繰り返す。
外部評価	A

所管	郷土資料館
令和5年度 事業目的・概要	【国指定重要文化財保護事業(保護)】 平成27年度に国の重要文化財に指定された「北海道松法川北岸遺跡出土品」を、確実に後世へ残すよう適切に保存・管理を行ないつつ、活用も図る。
主な事業実施内容	○指定品の現況調査 ○北海道教育委員会による文化財パトロール対応
事業経費(千円)	0
担当評価	C
成果又は課題	【成果】 ・高温多湿のため、土器にカビが発生してしまったものがあるが、指定品の現況調査を実施していたため、早期に対応することができた。 【課題】 ・展示環境について、過去に調査を行い把握していたが、R5年夏季の高温多湿の際は温湿度の把握を行っておらず、カビの発生となってしまった。夏季についてはその年の天候にかかわらず温湿度を把握する。
外部評価	C

所管	郷土資料館
令和5年度 事業目的・概要	【埋蔵文化財保護事業】 遺跡の保護・保存を図るとともに、事前協議が必要なものに関しては調査を実施する。発掘調査が必要なものは発掘調査を実施し、記録保存を行う。
主な事業実施内容	○埋蔵文化財の事前協議の実施 ①事前協議は0件 ②事前相談2件、ともに協議不要と回答 ○埋蔵文化財包蔵地パトロール 知床半島先端部で5か所埋蔵文化財包蔵地台帳カードに新規搭載 ○モイレウシ川南岸遺跡詳細分布調査 ・ふるさと少年探検隊と連携し、R5/7/25～8/3に実施 ○麻布タツカリウス川南岸遺跡詳細分布調査 ・羅臼高校と連携し、R5/10/2～12/20実施 ○麻布タツカリウス川南岸遺跡(麻布遺跡公園)草刈 ・2回と調査に合わせて複数回実施
事業経費(千円)	53
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・知床半島先端部はその立地から十分な踏査調査を行えていなかったが、R5年度実施することができ、5か所を埋蔵文化財包蔵地台帳カードへ新規搭載し、埋蔵文化財保護が充実した。 ・詳細分布調査が必要な遺跡において、今後文化財保護への理解協力が必要となってくる世代と連携して発掘調査が実施できた。 【課題】 ・知床半島先端部において、まだ遺跡の可能性地が複数あるが、立地及び野生動物との関係から踏査調査の実施が困難である。 ・詳細分布調査の計画は新型コロナウイルス感染症防止対策による調査休止があり、見直しを行う。
外部評価	A

所管	郷土資料館
令和5年度 事業目的・概要	【道指定天然記念物保護事業】 北海道指定天然記念物「羅臼のひかりごけ」、「羅臼の間歇泉」の調査を行い保護を図る
主な事業実施内容	○羅臼のひかりごけ ①指定地であるマッカウス洞窟周辺で落石を確認したため、洞窟内のモニタリング調査は休止 ②資料館内での展示 ③北海道羅臼高等学校・知床未来中学校との連携による保護のための調査研究実施 ○羅臼の間歇泉 ・噴出モニタリング調査3回実施
事業経費(千円)	0
担当評価	A
成果又は課題	【成果】 ・北海道羅臼高等学校とはひかりごけの屋外培養調査、原子体と茎葉体による破碎液の比較実験の実施。知床未来中学校とは屋内での継続的な培養実験を実施。 ・保護のための調査充実が図られ、今後文化財保護への理解協力が必要な世代と連携することができた。 【課題】 ・「羅臼のひかりごけ」指定地であるマッカウス洞窟の調査が落石の危険があり、立ち入り調査が困難となった。今後どのように洞窟内の調査を行うか検討する。
外部評価	A

所管	郷土資料館
令和5年度 事業目的・概要	【町指定文化財保護活用事業】 町指定文化財(史跡2件、無形文化財1件、有形文化財1件、天然記念物1件)の保護及び活用を図る。
主な事業実施内容	○文化財パトロールの実施 各文化財1回実施 ○知床いぶき樽保存会への協力 ○旧植別神社跡の草刈り 峯浜町の町内会が神社祭に合わせ実施 ○学校授業等での紹介 4件実施
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・学校授業で郷土資料館を利用して羅臼の歴史について学習する際、指定文化財を核に解説することで、身近に文化財があることを伝えることができた。 【課題】 ・指定文化財の悉皆調査は実施できていないが、現在の体制では困難であり文化財保護調査委員等から情報収集を図り候補物件リストを作成する。
外部評価	B



所管	郷土資料館
令和5年度 事業目的・概要	【郷土資料館運営事業】 自然や歴史的文化財を多く残す羅臼町において、それらに接し郷土への認識を深める機会を提供する。
主な事業実施内容	○日常管理 ①館内清掃や周辺環境整備 ②266日開館 ○学校授業での活用、施設の有効活用 ①幼小中高への展示解説、授業受け入れ 10件 ②北海道羅臼高等学校への知床学出前授業 8回 ③北海道羅臼高等学校での課題研究授業 25回 ○観光資源としての各種調査の実施 アンケート調査 339件回収 ○来館者への展示解説 22団体実施 ○資料の整備・保管
事業経費(千円)	6,839
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・学校での利用が定着してきており、学年ごとでの継続した利用が増えた。 ・北海道羅臼高等学校の要望に応じて事業を実施できた。 ・来館者数は1,657人で、個人の来館者はコロナ禍以前に回復しつつある。 【課題】 ・団体利用はコロナ禍以前と比較して半減以下であり、日本遺産事業と連携した周知を行う。
外部評価	B

所管	郷土資料館
令和5年度 事業目的・概要	【郷土資料館管理事業】 展示保管環境の整備を図るとともに、利用しやすい施設に向けた整備を図る。
主な事業実施内容	○郷土資料館 LED 改修工事に向けた実施設計委託。 ○フリーWi-fi、多言語解説アプリの運用。
事業経費(千円)	1,298
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・海外からの来館者数は全体の5%程であり、大半は多言語解説アプリの利用があった。 【課題】 ・展示環境等の整備を図るために、LED 改修工事が必要である。 ・国道から郷土資料館への入り口がわかりにくいことから屋外看板の改修が必要である。
外部評価	B



所管	郷土資料館
令和5年度 事業目的・概要	【ふるさと体験学習講座】 郷土の歴史や文化、自然に親しむ講座を開催し、その理解を深める。
主な事業実施内容	①第1回Ⅰ部 縄文土器づくり体験講座 R5/6/24 18名 ②第1回Ⅱ部 縄文土器野焼き体験講座 R5/8/5 ※雨天のため中止 ③第2回 郷土資料館×図書館 「秋の夜空の木星観察と宇宙にまつわるお話」 R5/11/2 29名
事業経費(千円)	20
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・アンケート調査は実施していなかったが、講座時の反応や感想は好評であった。また図書館とコラボした講座では、読み聞かせで使用した本の貸し出しを行っており16冊中11冊が当日に貸し出しとなった。 【課題】 ・他の事業での講座や授業回数が増え、当初予定した回数の講座を実施できなかったことから、年度当初に実施時期を計画する。
外部評価	B

所管	郷土資料館
令和5年度 事業目的・概要	【社会教育事業との連携】 各種事業と連携し、実物や自然に直接触れることを核とした、ふるさと教育を実施する。
主な事業実施内容	①ふるさと少年探検隊との連携プログラム …モイレウシ川南岸遺跡調査(R5/7/29~8/3) ②ふるさと少年体験教室 知床 Kids との連携 …アイヌ民族の昔の遊び(R5/11/8) ③こまぐさ学級 …北方四島の植物と植物標本づくり(R5/8/22)
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・各種事業と連携し、実物や自然に触れる体験学習を実施できた。 【課題】 ・自然や実物に直接触れる体験事業を広く実施するために、今後も継続する。
外部評価	B

所管	郷土資料館
令和5年度 事業目的・概要	【体験活動プログラム推進事業】 ふるさと教育推進のため、魅力あるプログラムの充実と、その活用を推進する。
主な事業実施内容	○体験活動プログラムの配布 ①体験活動プログラムの改訂 ②教育関係合同会議で配布
事業経費(千円)	0
担当評価	B
成果又は課題	【成果】 ・学校授業において、郷土資料館の継続的な利用が出てきている。 【課題】 ・ふるさと教育を推進する上でプログラムの周知は必要であるため今後も継続する。
外部評価	B

## 2 学校教育に係わるその他の取組み

### (1) 児童生徒を対象とした主な調査

調査名	羅臼小学校	春松小学校	知床未来中学校
標準学力調査(CRT)	4月27日(木)	4月27日(木)	4月27日(木)
アイチェック①	6月15日(木)	5月24日(水)	4月27日(木)
アイチェック②	11月9日(木)	11月14日(火)	11月8日(水)
知能検査(対象:2.5年生)	5月11日(木)	8月24日(木)	—
全国学力・学習調査	4月18日(火)	4月18日(火)	4月18日(火)

### (2) いじめ・不登校等への取組み

令和5年度のいじめについての報告は、小学校36件、中学校5件。不登校は、小学校、中学校ともに0件。不登校気味が小学校で1件ありましたが、相談室や保健室登校するなど対応を行うとともに、相談できる環境づくりを行いました。また、家庭と連携をとりながら、ZOOMを使用したオンライン学習を活用するなど、学習面のサポートを行いました。

※法では、受け手が心身の苦痛を感じたものを「いじめ」と定義されている。

### (3) 教育委員会が実施した教職員の研修等

研修会名	開催月日等	講師等
道研地域連携研修会	令和5年7月27日 ・講義名「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」 ・講義名「生徒指導の機能を生かした授業づくり」	北海道立教育研究所 研究主幹 目黒 範和 氏 研究研修主事 千葉 道子 氏
羅臼町幼稚園教諭研修会	令和5年12月6日 ・講義名「幼小連携・保護者連携の好事例」	北海道教育庁根室教育局 教育支援課義務教育指導班 主査 松永 祐子 氏
羅臼町特別支援教育研修会	令和5年6月26日 ・講義名「自閉症の不思議な世界」 令和5年11月28日 ・講義名「認知の仕方が異なる方への就労支援」	発達障害者支援道東地域センター センター長 丸山 芳孝 氏

### (4) 各種学習支援

事業名	開催月日	講師等
アフタースクール事業	1回目～令和5年9月9日～10日 2回目～令和5年11月11日～12日	北海道教育大学釧路校

### 3 教育団体等に対する補助金

(単位:千円)

課名	団体名/補助金名	予算額	決算額
学務課	羅臼町幼小中高一貫教育研究協議会	3,529	3,529
	羅臼町特別支援教育協議会	200	200
社会教育課	羅臼町子ども会育成協議会	300	300
	羅臼町女性団体連絡協議会	100	100
	羅臼町文化協会	250	250
	知床いぶき樽保存会	0	0
	羅臼町スポーツ協会	250	0
	羅臼町スポーツ少年団本部	220	220
	芸術文化鑑賞事業費補助	1,700	1,700
	20歳学園補助金	500	481
	芸術文化活動奨励事業補助金	100	100
	各種体育団体派遣費助成(8件)	1,500	1,316
	社会教育関係団体派遣費助成金(1件)	500	0

## 第9章 所管施設の利用状況

### 【図書館】年度別貸出冊数

(単位:冊)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度・ 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出冊数 (個人)	20,431	15,759	9,351	8,670	9,969	12,867	10,711
うち児童書	13,336	10,960	6,346	5,257	6,350	8,382	6,747
比率	65.27	69.55	67.86	60.63	63.70	65.14	62.99
住民一人当たり 個人貸出冊数	3.92	3.10	1.95	1.87	2.22	2.96	2.50

※令和2年4月1日より図書館として役場1階ロビーで開設。

### 【郷土資料館】年度別利用者数

(単位:人)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度・ 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
子ども	449	422	428	117	83	254	299
大人	1,287	1,499	1,513	1,134	787	1,242	1,358
合計	1,736	1,921	1,941	1,251	870	1,496	1,657

### 【羅臼町民体育館】年度別利用者数

(単位:人)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度・ 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校以下	6,506	6,482	-	-	5,942	9,888	12,176
中学生	5,408	3,953	-	-	3,051	4,761	5,499
高校生	1,160	1,128	-	-	1,279	2,555	1,793
一般	10,675	8,401	-	-	9,626	15,134	14,535
合計	23,748	19,964	-	-	19,898	32,338	34,003

※平成31年3月6日から休館中。令和3年7月1日からリニューアルオープン。

### 【公民館】年度別利用者数

(利用団体単位:件/利用者単位:人)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度・ 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用団体	961	838	-	-	-	-	-
利用者	18,261	13,235	-	-	-	-	-

※平成31年3月6日から休館となり、令和元年12月19日解体。

## 第10章 関係規定

### ○羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する規程

平成21年3月26日

教育委員会規程第1号

改正 平成27年3月20日教委規程第3号

#### 羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する規程

##### (趣旨)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号。以下「法」という。)第26条第1項の規定に基づき、羅臼町教育委員会(以下「委員会」という。)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価等に関し必要な事項を定めるものとする。

##### (委員会の権限に属する事務)

第2条 この規程において、委員会の権限に属する事務とは、法第21条各号に規定された事務をいう。

##### (点検及び評価)

第3条 委員会は、前条に規定する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施するものとする。

2 前項の点検及び評価は、毎年度、前年度の事務の管理及び執行の状況について行うものとする。

3 第1項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

##### (報告書の作成)

第4条 委員会は、前条の点検及び評価の結果に基づき、報告書を作成しなければならない。

2 前項の報告書の様式は、教育長が別に定める。

##### (議会への提出)

第5条 委員会は、前条の報告書を羅臼町議会に提出するものとする。

##### (公表)

第6条 報告書は前条の規定に基づく羅臼町議会へ提出後、遅滞なく公表しなければならない。

2 前項の公表は、次の各号に掲げる方法のうち、一以上の方法によって行うものとする。

(1)羅臼町教育委員会公告式規則(昭和31年教育委員会規則第5号)に規定する掲示場及び公衆の見やすい場所に掲示する方法

(2)羅臼町広報紙に掲載する方法

(3)インターネットを利用して閲覧に供する方法

##### (委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

##### 附 則

この規程は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年3月20日教委規程第3号)

##### (施行期日)

この規程は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成26年法律第76号。以下「改正法」という。)の施行の日(平成27年4月1日)から施行する。

○羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する実施要綱

平成21年3月26日  
教育委員会訓令第1号

羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する実施要綱

(趣旨)

第1条 羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する規程(平成21年教委規程第1号)第7条の規定に基づき、この実施要綱を定める。

(基本的な方針)

第2条 社会経済情勢の変化や町民ニーズに適切に対応し、教育委員会が策定した計画の着実な推進を図るため、事務の点検及び評価を行い、今後の施策展開の基本的な考え方や方向性などを明らかにするとともに、その結果を公表し町民に対する説明責任を果たすものとする。

(点検及び評価の対象)

第3条 事務の点検及び評価の対象は、次の各号に掲げる事務とする。

- (1)教育委員会の活動状況
- (2)教育行政に関わる規則・計画の策定状況
- (3)教育関係団体に対する指導・助言・援助等の状況
- (4)町民に対する情報提供の状況
- (5)その他教育委員会が実施する事務全般の状況

(点検及び評価の視点)

第4条 事務の点検況及び評価の視点は、次のとおりとする。

- (1)教育委員会の活動状況の現状と課題及び今後の取組み方向
- (2)主要な教育施策及び予算事業の実施状況

(点検及び評価の実施方法)

第5条 事務の点検況及び評価の実施方法は、次の各号に定める方法による。

- (1)前年度(報告年度の前年)に実施した事務について教育行政評価調書(様式1)により評価を行うものとする。
- (2)事務の点検況及び評価を行うにあたっては、羅臼町教育委員会外部評価委員会の意見を聴くものとする。
- (3)教育長は、評価調書を基に、事務の点検況及び評価の結果に関する報告書案を作成し、教育委員会の会議に付議するものとする。

(点検及び評価の結果の反映)

第6条 事務の点検況及び評価の結果については、重点施策の展開、予算編成、組織機構改正、事務事業の見直し等の事務改善など、教育行政のあらゆる分野に反映させるものとする。

附 則

この実施要綱は、公布の日から施行する。

○羅臼町教育委員会外部評価委員会設置要綱

平成21年3月26日  
教育委員会訓令第2号

羅臼町教育委員会外部評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 羅臼町教育委員会の権限に属する事務の点検及び評価等に関する規程(平成21年教育委員会規程第 号)第3条第3項の規定に基づき、羅臼町教育委員会外部評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事務を所掌する。

- (1)教育委員会が実施した施策又は事業の点検及び評価に関し意見を述べること。
- (2)その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関し識見を有する者のうちから教育長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定め、副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 4 委員会は、必要があると認めるときは、会議の委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。
- 5 委員会の会議は原則公開できるものとする。ただし、公開することが相当でないと委員会が認めるときはこの限りでない。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会学務課総務管理係において行う。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。